

ミ、石炭及ビ陶士ヲ産ス、

(6) 人種 ジャットランド 及ビ近海諸島ノ人口總計凡

二百萬、トットン派ニ屬ス、國語ハ丁抹語タリ、

(7) 宗教及教育、國民布勒的斯丹德教ヲ奉ズ、教育亦

大ニ進歩シ、國ニ無學ノモノ少シ、

哥本哈根ニ大學及ビ公立書籍館アリ、ゼーランドノ「ソロ」

中學之ニ次ク、

(8) 産業、丁抹本領ノ凡三分一ハ豐饒ニシテ、耕スベ

キノ地タルヲ以テ、人口ノ六部耕作ヲ業トス、農産ノ主

要ナルハ燕麥、大麥、小麥等タリ、中央及ビ西部ノ地ハ牧

野ニシテ、多ク牛馬及ビ羊ヲ飼養ス、而シテ沿岸ノ民ハ

概ネ皆漁夫タリ、

丁抹ハ流水並ニ石炭ニ乏シキヲ以テ、工業盛ナラズト雖

モ、亦手織機ヲ用キテ粗製ノ絨布ヲ作ルモノアリ、又森林

多キ所ニハ木靴ヲ製ス、商業ハ未ダ盛ナリト云フベカラ

ズ、ゼーランドノ道路ハ良好ナリ、然レドモジャットランド

ニハ好路ナシ、沿岸ニ些少ノ運河アリ、鐵道ハ所々ニ通ズ、

(9) 都市、首府ハ哥本哈根ニシテ、人口凡二十七萬五

千、良港ニ枕シ、往來頻繁ノ航路ニ臨ミ、交通ノ便極メテ

宜シ、蓋シ哥本哈根ハ丁抹唯一ノ大市ニシテ、工商ノ業

獨リ此ニ集合スルノミナラズ、亦教育ノ中心タリ、

(10) 政體、現行丁抹憲法ハ千八百六十六年ヲ以テ之

ヲ發布セリ、行政權ハ君主及ビ大臣ニアリ、立法權ハ之ヲ國會ニ委ヌ、國會ハ上下ノ兩院ヲ以テ成リ、議員ノ一部ハ君主之ヲ親任シ、一部ハ人民間接ニ之ヲ撰舉ス、行政上國ヲ二十二區ニ分ツ島中ニ十二區ジツトラントニ十區アリ、

發路島

(11) 發路群島ハ那威及ビ冰國間ニアリ、斯克蘭ノヲス岬ヲ距ル二百哩、一時那威ニ屬セシガ、今ハ丁抹ノ所有タリ、島數二十五、山嶽崎嶇トシテ、島岸絕壁ヲ爲ス、總面積五百方哩、最大島ヲストロモト云フ長サ三十哩、

氣候ハ純然タル沿岸氣候ニシテ、天氣屢變更ス、島北緯六

十二度ニアリト雖モ、冬間雪ノ地上ニアル一二月ニ過ギズ、大風屢到ルヲ以テ、樹木生長セズ、島全體ノ有様荒芒ニシテ、土壤ノ深サ二三尺ニ止ル、人口凡一萬、島魚ヲ獲テ、食ニ供ス、

冰國

(12) 冰國ハ北極國ニ接シ、グリーンランドニ隣ス、故ニ之ヲ米大陸ノ版圖ニ入ルハ却テ至當ナルガ如シト、雖モ、丁抹國ニ屬スルヲ以テ、歐洲大陸ノ一部ト看做スナリ、面積三萬八千五百方哩、其大サヨリ云ヘバ、歐洲所屬諸島ノ第二ニアリ、沿岸窪灣多ク、恰モ那威或ハ斯克蘭ノ沿岸ノ如シ、

内地ハ概ネ山地ニシテ、土地平均ノ高サ一、六〇〇乃至三、〇〇〇呎ナリ、又恒雪境ハ南方ニアリテ三千呎ノ高サニ達スレバ、耕作ヲ施スベキ地殆ドコレナク、全島概ネ氷野ノ覆壓スル所タリ、

氷國火山地方ノ南ニ當リ、グトナト稱スル一大嶽アリ、三千方哩ヲ覆壓ス、其海ニ接スル所オリフア山起ル、高サ六千四百廿九呎、之ヲ島中ノ最高峯トス、西南端ニヘクラ山アリ、高サ五千九十五呎、常ニ煙焰土砂ヲ噴吐シテ、害ヲ爲スヲ多シ、

(13) 耕スベキノ地ハ唯西岸及ヒ南瀕ノ一小部並ニ南方ノ溪間ニアルノミ、其他ニ至リテハ地皆苔蘚、雪野及ヒ火

山灰等ノ覆壓スル所タリ、島中樹木ヲ見ズ、麥類ハ之ヲ耕作シテ熟セザルニ非ズト雖モ、之ヲ輸入スルヲ以テ、却テ便ナリトス、

(14) 南方ニアリテ、晝間最長ノトキハ二十時ニ達シ、最短ノトキハ四時間ナルノミ、北方ハ、中夏日ノ没セザル一週間、冬間旭日ヲ見ザルモ亦然リ、南方太西洋ノ温潮達スル所ハ、大氣濕潤ニシテ、霧深シ、天氣變更シ易シ、冬期ハ永シト雖モ、寒氣嚴烈ナラズ、夏期ハ六月ヨリ八月ニ涉リテ冷涼ナリ、東方及ヒ東北岸即チ綠國ノ寒潮洗フ所、氣候大ニ西南部ト異ナリ、綠國寒潮ハ氷國及ヒ綠國間ノ海峡ヲ過ギ、氷國ノ東岸ニ多ク氷塊ヲ流送ス、

川河ハ通例短且急流ナリ、湖ノ數少ナカラズ、火山地方ニハ溫泉及ヒ噴泉多シ、

(15) 氷國人ハ其數凡七萬千餘人ニシテ、威那移住民ノ後裔タリ、溫故ニシテ學ヲ好ム、以是國貧窶ニシテ、風土宜シカラズト雖モ、書ヲ讀ミ得ザルモノ國中ニ稀ナリ、布勒的斯丹德教ヲ奉ズ

羊及ビ牛馬ヲ以テ主要ナル財産トス、春期ニハ島民舉テ南岸ニ到リ、鱈ヲ漁ス、佛船及ビ蘭船モ亦到ル、沿海又海豹水禽多シ、足袋手袋ノ編製ヲ以テ、島内産業ノ緊要ナルモノトス、

礦産ニハ褐炭、硫磺及ビ氷國石ト稱ス方解石アリ、而シテ

輸出スルモノハ唯氷國石ニ限ルナリ、

(16) 氷國ニハ自國ノ憲法アリ、立法權ハ之ヲ國會ニ委ヌ、國會ハ民撰議員三十名丁抹國王ノ勅撰議員六名ヲ以テ成ル、

氷國大臣行政部ノ長ト成リ、地方政務ハ之ヲ大守ニ委ヌ、島ヲ北區、南區及ビ西區ノ三分ニ別テ、復之ヲ小劃ス、

四 日耳曼帝國記

(1) 日耳曼諸州ノ聯邦ハ南アルプス山ノ麓ヨリ、北バルティック海岸ニ達シ、西佛蘭西、白耳義及ビ和蘭ノ國境ヨリ、東露國境ニ擴ル、東西或ハ南北ノ最長距離凡五百哩、面積二十萬八千五百方哩、南ハ山ニ依リ、北ハ海ニ瀕

高低

シ、天然ノ境界ヲ爲スト雖モ、東西ハ蓋シ人爲ノ劃域タルニ過ギズトス、

(2) 高低 國內概ネ高原ニシテ、アルプスノ一脈北走シテ、多少ノ山地ヲ爲ス、以是國ヲ別ケテ高獨乙及ビ低獨乙トス、

地勢ノ最モ較著ナルハバルテイク海瀕ノ河口ニシテ、此ニクリセ、フリセ、ステッテイル等ノ諸灣アリ、又北海瀕ノエルベ並ニウエセルノ兩河口及ビゼーアド灣、エムス河口ノ如キモ亦異狀ノ地形タリ、

(3) 川河 國內ノ諸水ハ主ニヴィストッラ、オデル、エルベ、ウエセル、ライン等ノ航行スベキ川河ニ依リ、バルテイク海

川河

氣候

若クハ北海ニ朝ス、東南ハダニッブノ河領ニ屬スルヲ以テ諸川之ニ由テ黑海ニ注グ、

(4) 氣候 日耳曼帝國ハ大國ニシテ、南北ノ廣サモ亦狹少ナラズト雖モ、南方ノ地高フシテ北部平低ナレバ、緯度ノ高低ヨリ生ズル氣候ノ差顯著ナラズ、中央日耳曼平均ノ溫度ハ英國南方ノ平均溫度ニ均シト雖モ、夏日ハ英國ヨリ熱スルヲ凡十度、冬間モ亦凡十度英國ヨリ寒冷ナリ、而シテ西北部ニアリテハ、沿岸氣候ヲ有シ、東隅ニ至レバ純然タル陸内氣候ヲ現ス、

ハムブルグ近傍ノエルベ河ハ嚴寒ノ年ニ非ザレバ氷封セラレズト雖モ、ヴィストッラ河ハ毎年十二月ヨリ三月マデ

物産

凍結ス、春期ニハ寒冷乾燥ノ東風吹き、其他ハ温風西ヨリ來ル、降雨ハ四季トモニアリ、然レドモ夏最モ多ク、又西部ハ東部ヨリ屢降雨アリ、

(1) 物産 獨乙ニハ森林所々ニ繁殖ス、而シテ東北ニハ松柏多ク、西南ニハ落葉樹多シ、帝國全面積中耕作ニ適スルノ地六分餘、森林ノ覆壓スル所二分半、不毛ノ地百分ノ八ニ過ギズ、麥類及ビ甘薯ハ作物ノ主要ナルモノニシテ、麻ハ各所ニ産シ、煙草ハライン及ビオデルノ溪間ニ培養ス、ラインノ沿岸亦葡萄園ヲ以テ著名ナリ、北日耳曼ニハ牛馬ノ牧畜盛ナルノミナラズ、該地ノ低原ニ亦幾多ノ羊ヲ飼養ス、

人口

鑛産モ亦少シトセズ、就中最モ緊要ナルハルール河(ライン)下流ノ一小支溪ノ鐵及ビ石炭産地ニシテ、之ニ次グハオデルノ上流溪、サール河溪等ナリトス、ハルツ山ハ殊ニ鑛産ヲ以テ著名ニシテ、其出ス所銀、鉛、銅及ビ亞鉛アリ、バルテイク海瀕ハ琥珀ヲ産ス、

(6) 人口 日耳曼帝國總人口ハ四千五百萬ニ超過ス、而シテ西歐洲ノ日耳曼派人ハ未ダ全ク帝國內ニ網羅セズト雖モ、帝國ノ版圖ハ日耳曼本部ノ外ニ出ツ、東境及ビルサティアニア、スラヴァン人、リトヴァニア人、ポーランド人、ウエンド人、ゼックス人等併セテ三百餘萬アリ、北方ニハ丁抹人凡十五萬、西陲ニハ佛人及ビワルーン人凡二

十萬アリ、

(7) 教育、宗教、教育ノ點ニ至リテハ日耳曼人ノ萬國ノ魁タルヲ前已ニ陳ベタルガ如シ、其大學ノ數二十ニ下ラズ、加之ナラズ美術、兵學、山林學、農學、航海術等ヲ專門トセル學館數十アリ、

(8) 布勒的斯丹德教最モ廣ク行ハル、羅馬加特力教ヲ奉ズル者ハ南部ニ多シ、猶太教ヲ奉ズルモノ亦少シトセズ、

(9) 帝國憲法、日耳曼帝國憲法ハ千八百七十一年ヲ以テ之ヲ發布シタリ、而シテ其條款ニ準據シ、聯邦諸州ハ相共ニ協同シテ、日耳曼國民ノ版圖ヲ保護シ、又其繁

榮安寧ヲ謀ルモノトス、兵馬ノ權及ビ國是裁定ノ權ハ普露西國王ニアリ、聯邦參議院及ビ日耳曼帝國々會之ニ參與ス、

帝國ヲ組織セル聯邦左ノ如シ

普露西王國

巴華里王國

撒遜王國

烏爾頓伯爾具王國

巴丁大公國

埃塞大公國

麥克連堡斯也零大公國

- 麥克連堡斯土列里都大公國
- 撒遜威馬爾大公國
- 阿爾頓堡大公國
- 貌蘭斯維區公國
- 撒遜每認原公國
- 撒遜亞爾頓堡公國
- 撒遜哥堡額達公國
- 安合公國
- 殊瓜都堡呂德斯達侯國
- 殊瓜都堡遜德海禪侯國
- 瓦爾德克侯國

- 舊系留士侯國
 - 新系留士侯國
 - 刪堡里卑侯國
 - 里卑侯國
 - 留伯克自由市
 - 貌勒綿自由市
 - 哈母堡自由市
 - 亞爾佐老連州
- (10) 帝國聯邦ハ商業及ビ貿易擴張ヲ目的トシ、ラキゼム
 プルグト國稅同盟ヲ爲ス、而シテ其行政ハ帝國會議ノ司
 ル所タリ、又關稅ハ國產稅、印紙稅、電信稅等ト共ニ之ヲ帝

國々庫ニ納メ、以テ帝國ノ經費ニ供ス、
鐵道二萬二千哩餘アリ、以テ國內運輸ノ便ヲ計ル、又帝國
所屬ノ船舶五千餘隻、其噸數一百萬ニ下ラズトス、
各聯邦皆自治制度アリ、故ニ左ニ其主要ナルヲ列記セン、

北日耳曼

普露西

(11) フレデリキ大王シレシアヲ征服セシヨリ、普露西
ノ國威日々ニ盛隆ニ赴キ、今日ニ至リテハ其勢歐洲ニ
冠タリ、西ハ和蘭、白耳義、及ビ佛蘭西ニ境シ、北ハ丁抹ニ
接シ、東方ハ露西亞、ポーランドニ連ナリ、南ハ小日耳曼
州ヲ距テ、瑞西及ビ奧地利、洪牙利ノ國境ニ隣ス、而シテ

其面積ハ全帝國面積ノ三分二ニ達シ、其人口ハ實ニ二
千七百萬ニ超過ス、

(12) 普露西ノ王位ハ王男子孫ノ繼續スル所ニシテ、國王
ハ大臣ノ協贊ヲ俟テ、政ヲ施行ス、立法權ハ國王及ビ兩議
院ニアリ、又行政ノ便ヲ計リ、國ヲ十三州ニ區別ス、

(13) 人口最密ノ地ハ即チ柏林府ニシテ、唯ニ普露西ノ
首府タルノミナラズ、亦帝國ノ王城タリ、人口凡百二十
萬、西ニエルベ河ヲ構ヘ、東ニオデル河ヲ有ス、鐵道諸所
ヨリ本府ニ集合シ、運河ノ此地ヲ過グルモノ亦少ナカ
ラズ、而シテ本府ニハ中央政府、裁判所、大中學等アルノ
ミナラズ、亦緊要ノ綿布、麻布製造場アリ、鑄鐵及ビ製陶

業ノ如キハ殊ニ著名ナリトス、

普露西中工業ヲ以テ著名ナルノ地方ハシレシア及ビライ
ン沿岸ニシテ、即チ鐵及ビ石炭ヲ産スルノ地是ナリ、ブ
レ斯拉ウハシレシア坑業地方ノ首府ニシテ、人口二十七
萬餘ヲ有シ、貿易頗ル盛ナリ、ライン沿岸炭地ニハコロ
ン、エイクス、バルメン、ドツセルドルフ、エルベルフェルト、クレ
フェルト及ビドルトムンドアリ綿糸、羊毛、麻及ビ絹糸紡績
業ヲ以テ著名ナリ、又ソーリゲン及ビエッセンノ製鋼場
モ此地ニアリ、即チ「シュルツ」鋼鐵砲ヲ鑄造スル所タリ、エル
ベ沿岸ノマグデブルグ、フルダ沿岸ノカセルハ共ニ中央
普露西ノ商市タリ、日耳曼ノ内國貿易ハ今尙年々開設セ

ル市ニ依ルコト多シ、メイン並ニオデル沿岸ノ兩フランク
フォルトハ年市ノ中央タリ、ライン沿岸ノハノヴァルハハル
ツ山ノ鑛産ヲ以テ、ブレメン港ヨリ輸入シ來ル物品ト交
換スル所トス、普露西所屬ノ要港ハ皆バルティク海瀕ニア
リ、其較著ナルハクニグスベルグ、ドゥンヂグ、ステッティン、スト
ラルスンド、メメル、ロストツク、ウイスマル及ビキール等ニシ
テ、エルベ河口ニハアルトナアリ、ハムブルグ港ニ隣ス、

撒遜

(14) 撒遜ハエルツ連峯ノ北面ニアリ、又此山ニ依テボ
ヒミアト別ル、エルベ河エルツ連峯ノ東邊ヲ過ギテ、撒
遜ニ入り、西北走シ、大運漕路ヲ爲ス、物産工業種々アリ、

船四五千隻アリ、

南日耳曼

巴華里^{マツアリア}

(19) 巴華里ハアルプス山北ノ高原ニ位シ、西ハライン河ニ臨ミ、東ハボーメル山ニ至ル、面積凡三萬九千三百方哩ナリ、又南方ノ諸水ハダニウブ河ニ入テ東走シ、北方ノ地ハメイン河領ニ屬ス、

全國面積ノ凡三分一ハ山林ニシテ耕地ハ一半ニ過ギズ、
鑛産ニハ鐵、石炭、石墨及ビ陶土並ニ寫書石^{ライオンストーン}アリ、人口ハ五百萬ニシテ、三分二ハ加特力教ヲ奉ジ、三分一ハ布勒的斯丹德教信者タリ、

(20) 首府ヲミニク^{ミニク}ト云フ、イサル河ノ左岸ニアリ、人口二十三萬餘ヲ有ス、此府南巴華里產麥地ノ中央タルヲ以テ、近來益繁昌ニ赴クナリ、ミニク^{ミニク}府亦麥酒製造ヲ以テ著名ナリ、加之ナラズ本府ハ美術館並ニ偉壯ナル大厦ノ輻湊セル所タリ、大學ハミニク^{ミニク}、エルランゲン及ビウルツブルグニアリ、

ヌルンベグハ舊府ニシテ、繞ラスニ隄壁ヲ以テス、之昔日初メテ懷中時計ヲ發明セシ所タリ、又北巴華里ノ工業並ニ貿易此ニ集合ス、而シテ其位地ハラトウイグス運河ニ沿ス、運河ハライン及ビダニウブノ兩川ヲ接續スルヲ以テ、商業上極メテ緊要ナリトス、

アウグブルグハミニツク府ノ西北ニアリ、リチ河ニ沿ス、又商業繁昌ノ地タリ、ウルツブルグハメイン河岸ニアリ、佛蘭古尼ノ舊都ニシテ、「フランク」人第六世紀ニ此ニ殖民セリ、

(21) 巴華里ノ憲法ハ千八百十八年ニ發布セリ、國王行政權ヲ握リ、立法權ハ之ヲ君主並ニ上下兩議院ニ委ヌ、

烏爾頓邊爾具

(22) 烏爾頓邊爾具ハ一小王國ニシテ、面積七千五百方哩ニ過ギズ、國內概ネ山村ニシテ、土地平均ノ高サ千五百呎、ネカル河ノ濕ス所タリ、ラウヘ、アルプス山東南ニ起リ、シワルツワルド山西ニ聳ユ、版圖三分一ハ森林ニ

シテ、餘ハ主ニ耕地タリ、ネカル河溪ニハ葡萄園アリ、葡萄ノ美酒ヲ製ス、鑛産ニハ鐵及ビ岩鹽アリ、製造業亦盛ナリ、其主要ナル工業ハ、麻、綿、羊毛、紙、煙草及ビ麥酒ノ製造並ニ製鐵業是ナリ、木材ノ輸出少ナカラズ、首府ヲストットガルトト云フ、人口凡十二萬、有名ノ哲學家ヘーゲルノ生レリシ所ニシテ、詩仙シルレルノ庠ニ遊ビシモ此地タリ、ハイルブローンモ亦商業繁榮ノ地ニシテ、トッピングンニハ大學アリ、政体ハ巴華里ト同ク立憲王國タリ

(23) 烏爾頓邊爾具ノ北方ニ「ホーヘン、ツレルン」家ニ屬セシ一小地アリシガ、千八百四十九年普露西國王ノ所有ニ

歸セリ

巴丁

(24) 巴丁ハ大公國中ノ最大ナルモノニシテ、面積五千八百方哩、ライン河岸ノ平地ニアリ、シッワルツワルドナ背ニス、山水ノ美日耳曼ニ冠タリ、ライン河ハ唯ニ巴丁ノ大運漕路タルノミナラズ、其支流ハ亦水車ヲ運動セシムルニ宜シトス、

全面積三分一ハ森林ニシテ、餘ハ耕地、牧場或ハ園圃タリ、工業盛ナラズ、貿易ハ主ニ通過貿易ニ止ル、首府ヲカルスルヘト云フ、チカル及ビライン兩川ノ合スル所ニアリ、マソハイム府モ亦此地ニアリ、カルスルヘト共ニ商業盛ナ

リ、ハイデルベルグ(北方)及ビフライブルグ(南方)ニ大學アリ、中央ノバーデン、バーデンハ殊勝ノ避暑地タリ、

(25) 亞爾佐路連ハ千八百七十一年ノ戰爭ニ由リ、日耳曼カ恢復セシ所ニシテ、ラインノ西涯ニ位ス、亞爾佐ハヴサゲス山ヲ背ヒ、東ライン河涯ニ降ルノ地ニシテ、人口多ク、土地腴膏タリ、多ク麥及ビ葡萄ヲ産ス、路連ハヴサゲス及ビアルデンノ兩山間ニアリ、鐵及ビ石炭ニ富ム、運漕路ニハライン、モーセルノ兩川並ニライン、ローンノ運河アリ、此地製革業、綿羊毛並ニ絹糸紡績及ビ麥酒製造盛ナリ、

亞爾佐路連ノ治政ハ之ヲ太守ニ委ヌ、太守ハ皇帝ノ勅

任スル所タリ、國會アリ、然レドモ權限廣カラズ、人口百五十七萬餘、主ニ加特力教ヲ奉ズ、

五 奧地利及洪牙利國記

(1) 千八百六十七年以來奧地利及ヒ洪牙利ノ兩王國ハ外交並ニ兵制上相互ニ聯合シテ一國ト成レリ、

(2) 廣袤 面積ノ點ヨリ云ヘバ、奧地利洪牙利ハ歐洲列國ノ第三ニ位シ、之ニ超過スルハ、唯露西亞及ヒ斯漢地那比亞ノ兩國アルノミ、東西ノ最長距離凡九百哩、南北七百哩ニ垂トス、又其國境ヲ視ルニ、西ニ伊太利、瑞西及ヒ巴華里ニ境シ、南ハ歐洲土耳其ニ隣シ、西南隅ハアドリアテイク海ニ瀕ス、

地 勢

記國利牙洪及利地澳門事記

(3) 地勢 奧地利洪牙利ハ概ネダニウブ河領ニ屬ス、以是古來奧地利洪牙利ヲ稱シテダニウブ帝國ト云ヘ

リ、西北ノ地海面ヲ抜ク一凡三百呎、

アルプス山ノ大嶽過半奧地利ノ西境ニ入ル、而シテ其一脈東走シテ洪牙利ニ達ス、ダニウブ河ガ洪牙利ノ中央ニ至リ、俄カニ南走スルハ、蓋シ此山脈アルガ爲メナリ、西北隅ニハ、ボームル山、エルツ山、ステン山、リーセン山及ヒモラヴィア山等アリテ、エルベノ水源ヲ擁ス、東北ニハカルパティア連峯アリ、延テ南カルパティア山ニ到ル、洪牙利ノ平原即チ其間ニアリ、

(4) 河、湖 　　ダニウブ河ハ巴華里ヨリ、奧地利ニ入り、洪

河、湖
(九〇一)

牙利ヲ過ギテ東南流セル大川タリ、其洪牙利國境ヲ去ルノ所、河幅半哩餘アリ、本河ハ即チ墺地利洪牙利ノ大運送路ニシテ、之ニ依テ黑海ニ到ルヲ得、

ダニウブ河支流ノ主要ナルハ南ニセヴアリ、洪牙利ノ南境ヲ爲ス、其北ニドレヴアリ、東アルプス山ヨリ出テ、東南流ス、ステテン山ヨリマルチ川出テ、南流シテ、ダニウブニ入ル、グイス河ハカルパティア山中ニ起リ、洪牙利平原ヲ曲流シテ、又ダニウブニ注グ、ホヒミアハエルベ川ノ源ヲ發スル所、オデルハシレシアニ起リ、グイストラモ亦源ヲカルハティア山中ニ發ス、ドニエスタル河モ亦此山中ニ起リ、東南走シテ黑海ニ朝ス、

氣候

洪牙利地内ダニウブ及ビドレヴ兩川間ニ二大湖アリ、其大ナルチバラト湖ト云ヒ、少ナルチノイシドレル湖ト稱ス、前者ハ偏淺ニシテ、後者ハ殆ド水ナシ、其他アルプス山下ノコンスタンス並ニガルダノ兩湖ノ如キハ墺地利ノ境界ニ接近スルモノタリ、

(5) 氣候、土地ノ高低様々ナルヲ以テ、墺地利洪牙利ノ氣候ハ地方ニ從フテ、大ニ異ナリト雖モ、大別之ヲ三分スルヲ左ノ如シ、(一)ハカルパティア山以北ノ氣候ナリ、此地ハ冬分永フシテ、冷氣甚シク、葡萄産セズ、(二)ハ洪牙利平原ノ氣候ニシテ、小麥及ビ葡萄ノ産ニ適ス、(三)ハアドリアティク海沿岸ノ氣候ナリ、此地ニハ橄欖及ビ蠶ヲ

國民

産ス、

カ
ル
バ
テ
ア
山
ニ
ハ、雪九月ニ降り、五月マデ消失セズ今維
納
府
ノ
氣
候
ヲ
以
テ、中央諸州ノ氣候標準トセシカ、其氣候
殆
ド
倫
頓
府
ノ
氣
候
ニ
髣
髴
タ
リ
ト
雖
モ、寒暖ノ差ハ一層甚
シ、維納府ニ於テハ一月ニ寒暖計氷點ヲ下ルコト二三度ニ
シテ、ダニウブ河水凍結ス、然レドモ夏日殆ド我東京ト伯
仲
ス、ア
ド
リ
ア
テ
イ
ク
海
岸
ニ
ハ「ボラ」ト稱スル寒冷ノ北風屢
襲
來
ス、此風夏期ニ殊ニ多シ、
全
體
ヨ
リ
云
ヘ
バ、山村ハ概テ森林ノ覆壓スル所ニシテ、洪
牙
利
ノ
平
原
ハ、無樹ノ低地タリ、

(6) 國民 奧地利洪牙利版圖内ニハ諸種ノ歐洲人軒

ヲ並ベテ住居シ、又相互ニ雜婚ス、其人口日耳曼派人「ス
ラ
ヴ
ン」人「マギヤル」人及ビ羅馬派人等ヲ合セテ三千八
百
萬
餘
ト
ス、言語モ亦諸種ニ別ル、然リ而シテアルプス
山
邊
並
ニ西部ダニウブ溪間ニハ日耳曼派人最モ多ク、
北
部
及
ビ中央ニアリテハ「スラヴン」人並ニ「マギヤル」人
ト雜居ス、

「スラヴン」人ハ其數最モ多ク、殆ド全人口ノ一半ヲ占メ、別
レテ北派及ビ南派ト成ル、北派「スラヴン」人ニハ「ボヒミア
ノ「ゼツクス」人及ビ「モラヴィア」人「スロヴァク」人「ポーランド」人
及ビ「ルテニア」人等アリ、南派「スラヴン」人ニハ「スロヴァン」人、
「スコロート」人、及ビ「セルヴィア」人アリ、但南派「スラヴン」人、ハ二國

宗教

産業

ノ西南隅ニ居ルモノトス、其他羅馬派人ハ南方ニ多ク、
ギヤル人ハ中央ニ多シ、前陳ノ外、尙猶太人、「ヤアス」人「アル
メニア」人等アリ、然レドモ其數多カラズ、

(7) 宗教、教育、國教ハ羅馬加特力教ニシテ、國民三分
二ハ之ヲ奉ズ、露西亞西隣ノ民ハ希臘教ヲ信シ、洪牙利
及ビトランシルヴァニア人ハ多ク布勒的斯丹德教ニ入
ル、

日耳曼地地利ヲ除クノ外ハ、教育ハ退歩ノ狀ヲ呈ス、然
レドモ尙大學十アリ、

(8) 産業、産業ハ自然山村ノ鑛業及ビ牧畜並ニ平地
ノ農業及ビ牧畜ニ分離ス、

鑛産

民ノ農業ニ從フモノ最モ多ク、又地地利洪牙利ノ平地ハ
歐中ニ豐饒ヲ以テ著名ナルモノニシテ、若シ農業ニ改良
ヲ加ヘバ、收獲益多キニ至ルベシ、穀物ノ主要ナルニハ大
麥、小麥、燕麥及ビ玉蜀黍アリ、麻ハ廣ク之ヲ耕作シ、葡萄及
ビ煙草ハ洪牙利ニ産シ、ホヒミアニハ苦草ホッブヲ作ル、山村ニ
ハ獸獵未ダ衰ヘズ、熊ハカルパティア、アルプス及ビダルマ
ティア近傍ニ出沒シ、狼ハ南洪牙利並ニガリシアニ多シ、川
漁モ緊要ノ職業ニシテ、ダルマティア沿海ニモ亦漁業盛ナ
リ、

(9) 鑛産、地地利洪牙利ハ多ク鑛産ニ富ム、金、銀、銅、鉛、
亞鉛、白銅等殊ニ多シ、然レドモ其最モ緊要ナルハ鐵鑛

ニシテ、アドリアテ、ク海岸ヲ除クノ外、州トシテ鐵ヲ産セザルハナク、而シテ其最モ多ク産スルハステ、リア及ピカリンテ、アタリ、塊地利亦數多ノ石炭坑ヲ有ス、カルパテ、ア山ハ岩鹽ノ産ヲ以テ著名ナリ、ウ、イ、ク、リ、ツ、カノ鹽坑ノ如キハ殆ド無盡藏ト云フベシ、

(10) 工業 或ル部分ニ於テハ工業大ニ進歩セリト雖モ、大体ヨリ云ヘバ、製造品ハ多ク他ノ輸入ヲ仰グナリ、工業中最モ盛大ナ極ムルハ紡績事業ニシテ、之ニ次グハ金屬精製、石材並ニ木材細工等ニシテ、製革業其次ニアリ、ステ、リア州ノアルプス山中ニハ製鍊業盛ナリ、

(11) 貿易 塊地利洪牙利ハ四方概ネ高嶺ノ圍繞スル

所タルヲ以テ、國外トノ交通ニ充分ノ便ナシ、故ニ外國貿易ハ未ダ盛大ノ域ニ達セズトス、

國ノ西南隅アドリアテ、イ、シ、ニ瀕ス、然レドモ此ニ至ランニハ、アルプス東脈ノ高峰ヲ跋涉セザルベカラズ、而シテ其達スル所ハ唯内海ノ一陬ノミ、ダニウ、ブ、河ハ運送ニ便ナリト雖モ、其注グ所亦内海タリ、故ニ貿易ハ主ニ陸路ニ依リ、一方ハ獨乙ヲ過ギテ、歐洲諸國ニ達シ、一方ハ土耳其ニ入ル、伊太利及ビ露西亞ト亦些少ノ貿易アリ、然レドモ産物ノ種類多キヲ以テ内地ノ商業極メテ頻繁ナリ、即チダニウ、ブ、河ハ洪牙利ノ沃野ヲ以テ、彼穀物ニ乏シク木材ニ富メルアルプス山村ト接続ス、此河ノ内地貿易ニ便ナル

政体

推シテ知ルベシ、
鐵道四方ニ通ズ、アルプスヲ通過セル線路亦少ナカラズ、
故ニ今日ニ至リテハアドリアテイク海岸トノ交通稍便利
トナレリ、

(12) 政体 千八百六十六年ノ戦争以前ハ奥地利ハ君主擅政國タリキ、然ルニ此戦争ニ由リ、内政大ニ紊亂セシナ以テ、國王ハ竟ニ洪牙利人ノ熱望セシ憲法ヲ發布スルニ至レリ、故ニ今日ニアリテハ奥地利洪牙利共ニ立憲政体ヲ有ス、

奥地利及ビ洪牙利ハ皆自國ノ國會、内閣及ビ政府ヲ有ス、兩國ノ國會トモ上下ノ兩院ヲ以テ成ル、而シテ兩國ハ一

世襲王ノ下ニ連結シ、軍制ハ之ヲ等一ニシ、外交モ兩國一致シテ之ヲ行フ、

奥地利

(13) 奥地利公國ハエーンス川岸ヨリダニウブ河ノ沿岸ニ廣リ、東方ハ一大平原ト成ル、西方及ビ南方ハ山嶽多シ、石炭及ビ鐵ヲ産ス、葡萄モ亦繁殖シ、工業モ盛ナリ、人口凡三百萬ニシテ、主ニ日耳曼派人ヲ以テ成ル、

維納府ハ奥地利王國ノ首府ニシテ、人口凡百十萬、ダニウブガ河山間ヲ辭スルノ所ニアリ、商業極メテ盛ニ、諸州皆此府ヲ中央トス、ダニウブ沿岸ノリンツモ亦商業ノ盛隆ヲ以テ知ラル、エーンス河沿岸ノステイルハ製鉄及ビ製

鋼業ヲ以テ著名ナリ、

(14) 撒爾都堡公國ハ山地ニシテ、人口凡十五萬五千、南

ハホーヘ、タウエルンノ高嶺ニ對シ、イーン河ノ支流サ

ルツ、川其間ヲ流ル、鑛産ニハ金、鐵、白銅、及ビ岩鹽アリ、首

府ヲ撒爾都堡ト云フ、風景極メテ宜シ、

(15) 素知里亞公國ハ人口凡百二十萬ヲ有ス、アルプス

ノ山脈流レテ國內ニ入ル、然レドモ其間亦豐饒ノ地ア

リ、勤メテ之ヲ耕作ス、北方ニハ日耳曼派人アリ、南方ニ

ハ「スラヴァン」人多シ、

素知里亞ノ北方ハ製鍊製鋼ノ中央タリ、其首府クラツニ

ハ機械製造場アリ、

(16) 加隣知亞公國ハアルプスノ山間ニアリ、人口凡三

十四萬ヲ有ス、ドレヴ河其間ヲ流ル、産物ノ主要ナルハ

鉛及ビ亞鉛タリ、首府ヲクラゲンフルトト云フ、

(17) 加留尼阿刺公國ハ人口凡四十七萬三千、セウ河ノ

南ニアル、鑛産ニハ鐵、銅、鉛、亞鉛、石炭及ビ水銀アリ、首府

ヲライバクト云フ、國民ハ主ニ「スラヴァン」人タリ、

(18) アドリアテイク沿岸地ハゴルツ、グラディスカ、トリエ

スト府、イストリア半島及ビクアルネロ灣中諸島ノ總

稱ニシテ、カルソノ高地ニ依テ、内地ト分離ス、住民多ク

ハ「スラヴァン」人タリト雖モ、都市ニハ伊太利人多數ヲ占

ム、

トリエヌトハ、換地利唯一ノ海港ニシテ、同國「ロイド」汽船
會社ノアル所タリ、但「ロイド」會社ノ汽船ハ常ニ地中海ノ
諸港並ニ英國、白耳義及ビ印度等ニ往來シ、盛大ニ廻漕業
ヲ營ム、

(19) 太魯爾ハ山邑ナリ、人口凡八十萬ヲ有ス、川ノ主要
ナルニイーン及ビエデ、ゲアリ、鑛産ニハ石炭、鐵、鉛及ビ
其他金屬ヲ出ス、

(20) 窩刺爾邊爾具ハライン河ニ面セル一小山國ニシ
テ、人口十萬餘アリ、首府ヲブレゲンツト云フ、

窩刺爾邊爾具中ニリーチエンスタイント稱スル一小國ア
リ、面積六十六方哩、人口九千百餘、之ヲ歐洲ノ最小獨立國

トス、國民ニ兵役ノ義務ナシ、

(21) 撲比美亞王國ハ繞スニボーメル山、エルツ山、
セン山及ビモラヴィア高原ヲ以テス、而シテエルベ河其
間ヲ過ギテ北走ス、人口五百五十萬、王國ハ鐵、石炭及ビ
銀ニ富ム、工業モ亦盛ナリ、

首府ヲブレグト云フ、人口十九萬餘、モルダウ川ニ沿フテ
位ス、商業ノ中心タリ、北方ノライヘンベルグニハ織物業
盛ナリ、エルツ山下ノテプリツ並ニカルスバッドハ有名ノ
温泉場タリ、又西方ノピルセンハ麥酒釀造ヲ以テ、歐洲ニ
冠タリ、

(22) 蒙刺比亞ハ撲比美亞國境スディク山及ビモラヴィア

高原ヨリ東カルバティア山ニ達ス、マルチナ其主要ナル川トス、石炭並ニ鐵多シ、

ブルンハ、埃地利ノ製絨業中心タリ人口八萬ヲ有ス、

(23) 埃地利領士禮士亞ハ舊公國ノ一部ニシテ、公國ノ過半ハ今日普露西ニ屬ス、人口凡五十八萬、蒙刺比亞ノ北ニアリ、鐵及ビ石炭ニ富ム、

(24) 俄里士亞王國ハカルパティア山ヨリ露西亞及ビポーランドノ平地ニ達シ、鐵石炭及ビ鹽ニ富ム、人口六百二十七萬餘、

ラムベルグ及ビクシラコウ(ポーランドノ舊都)ハ貿易ノ中央タリ、

(25) 武古比尼亞ハセレス河ノ上流ニアリ、人口五十六萬餘、首府チケルノウィット云フ、

(26) 達摩知亞ハアドリアテイク海ニ沿ス、長サ三百哩、人口四十八萬、海岸窪灣ニ富ミ、近海島嶼多シ、都市ノ主要ナルチザラ、スパラト、ラグサ及ビカタロトス、

洪牙利王國

洪牙利王國ハ洪牙利、トランシルヴィニア、クルティアシルヴァニア及ビフィウムヲ以テ成ル、總人口千六百萬、中四分ハ「マギヤル」人、一分半ハ猶太人、一分ハ日耳曼人ニシテ、餘ハ「スラヴ」人ナリ、

(27) 洪牙利ハ一大平原ニシテ、北ニカルパティア連峯ニ

對シ、西南アルプス山ノ盡ル所ニ達ス、ダニウブ其間ヲ流ル、

ブダペストハ洪牙利ノ首府ニシテ、平地ノ物産即チ穀物、羊毛、酒、家畜、獸皮等ヲ以テ山地ノ産物タル木材、曹達及ビ加里等ト交換スル市場タリ、

(28) 土蘭士留波尼亞ハ即チ森林以外ノ國ナル意ニシテ、日耳曼人ハ之ヲ七城國ト稱ス、蓋シ七城國ノ名稱ハ昔日撒遜人始メテ此國ニ殖民セシ時ニ當リ、此ニ七城ヲ築造セシニ由ルナリ、而シテ其地位ハカルパティア山南ノ高原ニアリ、其最美ノ都チヘルマンスタットト云フ、
(29) 克魯知亞及ビ斯刺窩尼亞ハブドリアテ、ク海岸ヨ

廣 袤

地 勢

リ、東ニ廣ガリ、セーヴ河ノダニウブ河ニ注グ所ニ達ス、首府チアグラムト云フ、又クアルネロ灣頭ノフウムハ洪牙利ノ要港タリ、

六 瑞西國記

(1) 廣、袤、瑞西ハ無海國ニシテ、國內山嶽峩々タリ、面積一萬五千九百方哩、即チ東西ノ長サ二百十哩、南北百五十哩ニ過ギズ、北ハ日耳曼ニ境シ、東ハ墺地利ニ隣シ、南ハ伊太利ニ接シ、西ハ佛蘭西ニ界ス、

(2) 地、勢、南方ノ國境ヲ視ニ、アルプス山疊々トシテ起リ、マビタルホルン(高サ一四七〇五呎)及ビロザ(高サ一五、二一七呎)ノ峻嶺ヲ爲ス、而シテ之ヲ越スニグレイト

セント、バルナルド、シムプロン及ビスプルゲンノ峻阪アリ、此疊峯ノ北ニハローン河東ヨリ西ニ流レ、ゼネヴ湖ニ注ギ、ラインノ上流東北走シテ、コンスタンス湖ニ朝ス、故ニ此所一大幽谷ヲ爲ス、中央ニハバルニス、アルプス、ウリ、アルプス、及ビグレラス山起リ、フンスタールホルン(高サ一四〇二六呎)及ビユングフラウ(高サ一三、六七一呎)嶺ヲ爲ス、尙北ニ進メバ地勢稍低ク、瑞西ノ低地ヲ見ル、但低地ト雖モ海面ヲ抜ク千五百呎ニシテ、其位地ヲ云ヘバ、東北ハコンスタンス湖ニ始マリ、アル溪ニ沿シ、南ニ折レテビール湖四近ニ達ス、低地ノ北方ニハジラノ連峯アリ、西北ノ國境ヲ爲ス、

河湖

氣候

(3) 河湖 國ノ北部ハライン河領ニ屬ス、ライン河ノコンスタンス湖ヲ出テ西流スルヤ、途ニアール河ヲ容ル、アール河ハグリムセル山中ニ起リ、ブリエントツ及ビト、ンノ兩湖ヲ過ギ、ビール湖近傍ニ至リ東北走スルモノタリ、ツリク、ツグルナエルン、ニウナ、テル及ビビールノ諸湖モライン河領ニアリ、西南部ノ諸水ハ皆ローン河ニ入り、竟ニ地中海ニ注グ、
 瑞西ノ川河ハ皆急流タルヲ以テ、舟楫ノ便ナシ、然レドモ湖ニハ汽船ヲ浮ベ、交通ニ便ニスゼネヴ湖(長サ四十七哩)ノ如キハ船舶ノ往復極メテ頻繁タリ、
 (4) 氣候 土地ノ高低ニ從ヒ、寒暖固ヨリ一樣ナラズ、

物產

故ニ九千呎以上ノ高峯ニ至レバ、四季積雪ノ消失スルコトヲナシト雖モ、低地ニアリテハ、能ク葡萄、桑、或ハ麥類ヲ培養シ得ルナリ、又曰ク低地ノ平均溫度ハ英京倫頓ト殆ド同一ニシテ、即チ三十七度タリ、而シテ夏日ノ熱ハ英京ヨリ烈シク、冬ハ倫頓ヨリ寒シ、

(5) 物產 山林全面積ノ六分一ニ廣ガリ、緊要ノ木材ヲ産ス、アルプス及ビジュラノ山民ハ多ク獵夫ト成リ、或ハ牧畜ニ從事ス、耕地ハ唯低地ニアルノミ、農民勤メテ其業ニ從フト雖モ、耕地固ヨリ僅少ナルヲ以テ、收穫需用ニ供スルニ足ラズ、故ニ穀物ヲ外國ヨリ輸入ス、礦産ニハ唯岩鹽アルノミ、

國民

(6) 國民 瑞西ノ人口ハ凡二百九十萬ニシテ、其四分三即チ中央及ビ北部ニ居ルモノハ日耳曼派人ニ屬シ、餘ハ羅馬派ノ三族ニ入ル、西部ニ佛蘭西人多ク、南ニ伊太利人アリ、東南ニハ「リトロマ」人ヲ見ル、國民ノ過半布勒的斯丹德教ヲ奉ジ、山間ノ民ハ主ニ加特力教ヲ奉ズ、教育廣ク行ハル、大學ハバセル、バルン、ヅリク及ビゼネヴァニアリ、

(7) 瑞西ハ歐洲ノ遊園ト稱セラル地ニシテ、富有ノ士人此ニ遊バザルモノナシ、是瑞西ノ地山水ノ美ニ富ガ故ナリ、

(8) 工業ハ北方ノ低地ニ盛ナリ、而シテ其最モ著名ナ

政體

ルハ時辰計ノ製造トス、但時辰計ノ機械ハ諸所ニ於テ之ヲ製造シ、之ヲゼネヴ^ズ（人口六八〇〇〇）及ビニウチ^テルニ輸送シテ、組立ルニアリ、東方ニハ多ク綿布及ビ絹糸ヲ精製ス、而シテ其工業ノ中央ハヅリク（人口五七〇〇〇）聖ゴール^ル、及ビバセル（人口四五〇〇〇）タリ、

工業ニ要スル原料ハ悉皆之ヲ外國ヨリ輸入ス、又商業上天然ノ便ナシト雖モ、貿易大ニ隆旺ナリ、今貿易ノ中心ヲ述ベ^ンニ北ニハセル、西南ニセチヴ^ア、東北ニブリクアリ、鐵路四通五達、

(9) 政、体、維納府會議ニ於テ瑞西ハ其二十二州ヲ以テ、永久局外中立ニシテ、獨立國タルベシト議決セリ千

八百四十八年以來各州聯合シ、立法及ビ行政ノ大權ヲ國會ニ委ネタリ、國會ハ上下ノ兩院ヲ以テ成ル、上院ハ各州ノ代表者ヲ以テ其議員トシ、下院ノ議員ハ即チ人民ノ直接ニ撰舉スル者タリ、

七 和蘭國記

(1) 和蘭ハ面積僅ニ一萬二千六百方哩ニ過ギザル一小國ニシテ、中央歐洲ノ西隅ニアリ、南白耳義ニ境シ、東日耳曼帝國ニ接シ、西北ニ北海ヲ受ク、南北ノ長サ百六十哩、東西百十哩餘、

(2) 全國概テ平坦ニシテ沿岸地ノ如キハ海面ヨリモ低シ、以是海岸ニ大埠ヲ築テ以テ海潮ノ侵入ヲ防グナ

リ、而シテ堤埠維持ノ如キハ年々多額ノ金ヲ要スル所トス、南方ノ地ハライン、マース及ビセルド河口ノ堆積土ヲ以テ成ル、河口ニ島多シ、ワルケルン、ベヴェルラントシウエン、トレン、オヴェル、フレッケ、ヴルン、ベエルラント等ヲ其大ナルモノトス、國ノ北邊ニ南海ト稱スル一大淺灣アリ、七世紀ノ間驚濤來リテ、湖ヲ破リ、此灣ヲ作りタリ、灣外ニ島嶼ノ駢列スルハ即チ往昔ノ海岸トス、

(3) 川運河、セルド、マース及ビライン諸川ノ外運河四方ニ通シ、到ル所トシテ舟楫ノ便ナキ地ナシ、良ニ運河ノ富ニ至リテハ、和蘭萬國ニ魁タリ、

運河ノ最大ナルハ北海邊ノ一港ヨリ小地峽ヲ經テ安特

堤府ニ達スルモノニシテ、之ニ次グハヘルデル港ヨリ同府ニ至ルモノトス、此ノ運河ハ長サ四十哩ニシテ、能ク大船ヲ容ル、

氣候
和蘭ノ氣候ハ所謂ル沿海氣候ニシテ、冬嚴寒ナラズ、夏酷熱ナラズ、而シテ國中川河多キヲ以テ、大氣潤濕ナリ、夏日寒暖計八九十度ニ達スルコトアリ、

中央並ニ西部ニハ沿池、牧場及ビ田圃アリ、東部ニハ尙未ダ耕地ヲ見ル、東南ニハ泥炭地アリ、多ク泥炭ヲ掘採ス、而シテ此等ノ地ニハ年々樹木ヲ植ヘテ、之ヲ改良ス、國中ニ森林ナシ、木材ハ黒林及ビ那威ヨリ輸入ス、

(5) 人種、總人口凡四百萬、主ニ「バタヴァ」人ヲ以テ成

(4) 氣候、和蘭ノ氣候ハ所謂ル沿海氣候ニシテ、冬嚴寒ナラズ、夏酷熱ナラズ、而シテ國中川河多キヲ以テ、大氣潤濕ナリ、夏日寒暖計八九十度ニ達スルコトアリ、

中央並ニ西部ニハ沿池、牧場及ビ田圃アリ、東部ニハ尙未ダ耕地ヲ見ル、東南ニハ泥炭地アリ、多ク泥炭ヲ掘採ス、而シテ此等ノ地ニハ年々樹木ヲ植ヘテ、之ヲ改良ス、國中ニ森林ナシ、木材ハ黒林及ビ那威ヨリ輸入ス、

(5) 人種、總人口凡四百萬、主ニ「バタヴァ」人ヲ以テ成

ル、蓋シ「バタヴィア」人ハ日耳曼族ノ一派ニシテ、羅馬時代ニライン河ニ居チ占メルモノトス、

國民ハ勇敢、勉勤ニシテ、節儉ヲ專ラトス、「フリースランド」人(國民ノ一部半ヲ爲スモノ)ハ「フリシ」族ノ子孫ニシテ、北隅ニ居リ、「アングロ、サクソン」語ニ切類セル言語ヲ用ユ、「フレミング」人(國民ノ一部半ヲ爲スモノ)ハ東南隅ニ居リ、其言語和蘭語ト異ナリ、

(6) 宗教、教育 和蘭人ハ過半布勒的斯丹德教ヲ奉ズ加特力教ヲ奉ズルモノ凡百二十萬猶太教ヲ奉ズルモノ八萬餘アリ、教育普及ハ法律ノ命ズル所タリト雖モ、田舍漢ニ至リテハ無學ノ徒少ナカラズ、レイデン、グロ

産業

ニンゲン及ビウトレクトニ大學アリ、

(7) 産業 牧畜並ニ牛酪及ビ乾酪ノ製造ヲ以テ主要ノ産業トス、農産ニハ大麥、燕麥、小麥及ビ甘薯アリ、麻、甘蔗、キクナサ「煙草」等モ廣ク之ヲ培養ス、又近海ニアリテハ、漁業盛ニシテ、由テ以テ生活ヲ得ルモノ數萬アリ、和蘭ハ鑛物ノ産ナキヲ以テ、工業國タラズト雖モ、二三較著ノ工業ナキニ非ズ、造船業ハ最モ緊要ノ工業ニシテ、製造所六七百アリ、「ジン」酒釀造所二百アリ、製絨業ハ南部及ビレイデンニ盛ニ、麻布ノ製織ハハーレムニ集合ス、

(8) 安特堤府ハ人口三十餘萬ヲ有ス、和蘭ノ首府タリ、金剛石琢磨業ヲ以テ著名ナリ、海牙ハ人口十二萬ヲ有

政体

如氏地理教科書

ス、政府所在ノ地ニシテ、有名ノ海港ロツタダムヲ隔ル
 七十四哩ナリ、

(9) 政体、現行ノ憲法ハ千八百四十八年ノ裁定ニ係
 ルモノニシテ、行政權ハ之ヲ君主及ビ責任内閣ニ置キ、
 立法權ハ國會ニ委ヌ、

樂善堡

(10) 和蘭國王ハ亦樂善堡ノ大公タリ、樂善堡ハ白耳義
 佛蘭西及ビ日耳曼間ニアル一小地ニシテ、面積一千方
 哩、人口凡二十萬、千八百六十七年ヲ以テ局外中立國ト
 定メタリ、

八 白耳義國記

廣袤 白耳義國事記
 地勢 記

川河 (九三一)

- (1) 白耳義王國ハ小ナリト雖モ、二大強國間ニ挾レテ
 孤立ス、其人民一部日耳曼派ニ屬シ、一部ハ羅馬派ニ入
 リ、其數モ亦殆ンド相均シ、然レドモ日耳曼派人少ク多
 數ヲ占ム、故ニ之ヲ趨頓州中ニ置クナリ、然リ而シテ國
 精ノ如何ニ至リテハ寧ロ佛蘭西風ト稱スベシ、
- (2) 廣袤、東西ノ長サ百五十哩、南北百哩、ニシテ面積
 一萬千四百方哩ニ過ギズ、而シテ瀕海ノ地唯四十哩ア
 ルノミ、
- (3) 地勢、國ノ西北平坦ナルヲ和蘭ノ如ク、東南ハ丘
 陵多ク、森林ニ富ム、此地海面ヲ抜クヲ二千呎、
- (4) 川河、土地北方ニ傾斜ナルヲ以テ、川河皆北流ス、

氣候

國民

大川ヲミウスト云フ、佛蘭西ヨリ來リ、白耳義ヲ過ギテ和蘭ニ入ル、舟行スベシ、ミウスノ支流サンブル及ビウルテモ亦舟楫ノ便アリ、平地ニハセルド河アリ、又數條ノ運河アリ、天然川ヲ接續シテ交通ノ便ヲ與フ、

(5) 氣候、北方平坦ノ地ハ大氣濕潤ニシテ、霧深ク、東南ハ氣候稍乾燥ナリ、

西北ノ地ハ田圃開ケ東南ニハ森林牧野並ニ鑛山多シ、而シテ白耳義及ビ和蘭ノ間ケムベント稱スル赭地アリ、此ニケムピン河ヲ鑿ナテセルド及ビミウスノ兩川ヲ接續ス、

(6) 國民、白耳義ハ人口最稠密ニシテ、面積僅カニ一

宗教教育

物産

萬餘方哩ナルモ、六百萬餘ノ人口ヲ支フ、然リ而シテ人口ノ如斯ク稠密ナルハ農工商上ノ便極メテ宜カ故ナルベシ、國民ノ五十七「ペルセント」ハ日耳曼派人ニ屬シ、四十二「ペルセント」ハ羅馬派人タリ、

(7) 宗教教育、宗教ノ自由完然ニシテ各宗者ノ待遇皆同一ナリト雖モ、國民ハ多ク加特力教ヲ奉ズ、教育ハ未ダ普及セズ、國立大學ゲント及ビリーゲニアリ、ブラセルニハ書籍館アリ、

(8) 物産々業、國民四分之一ハ農業ニ從事ス、廣ク苦草ヲ培養シテ之ヲ佛國及ビ英國ニ輸出ス、甘菜及ビ麻ノ耕作モ盛ナリ、

石炭田ニアリ、ミウス河溪ニ沿フテ東西ニ延長ス、一年ノ産出千五百萬噸ニ下ラズ、鐵、鉛及ビ錫モ亦産ス、

(9) ミウス河溪石炭ノ産スル所リ、ケノ製鍊市アリ、セ

ライングニハ諸機械ヲ製造ス、國民ノ五分一ハ工業ニ従事ス、最舊ノ工業ヲ麻布製織トス、西部ノ諸州ニ盛ナリ、

(10) 武羅世爾ハ首府ニシテ、國ノ中央ニアリ、人口三十萬餘ヲ有ス、人稱シテ第二ノ巴里ト云フ、兵營アリ、宮殿アリ、紀念碑アリ、美術館アリ、其觀實ニ壯偉美麗ヲ極ム、安多威爾府ハ商業ノ中心ニシテ、又樞要ノ海港タリ、人口十六萬ヲ有シ、セルド口ニ位ス、汽車停車場此地ニ輻湊スルモノ多シ、

政體

(11) 政體 白耳義ノ憲法ハ千八百三十一年ヲ以テ發布セシ所ニシテ、之ニ準據シ立法權ヲ國王國會及ビ民撰元老院ニ委ヌ、

中等教育如氏地理教科書第三帙第二卷下

目錄

二 羅馬諸州

| 目 | | 錄 | |
|---|--------|-------|-----|
| 一 | 佛蘭西國記 | | 一丁 |
| | 伊比利亞半島 | | 一五丁 |
| 二 | 西班牙國記 | | 二二丁 |
| 三 | 葡萄牙國記 | | 二八丁 |
| 四 | 伊太利國記 | | 三一丁 |
| 五 | 希臘國記 | | 四六丁 |
| 六 | 羅馬尼亞國記 | | 五六丁 |
| 三 | 斯羅本諸州 | | 六一丁 |

波爾汗半島記……………六一丁

一 世爾維亞國記……………七二丁

二 門的捏具路國記……………七四丁

三 保斯尼亞及邊爾坼吳維尼亞國記……………七五丁

歐洲土耳其……………七七丁

四 貌爾牙利亞及東羅宇墨利亞國記……………七七丁

五 土耳其本領記……………八〇丁

六 歐洲露西亞國記……………八五丁

中等教育 如氏地理教科書第三帙第二卷下

理學士 富士谷孝雄 講述

二 羅馬諸州

此州中ニ屬セル較著ナレハ佛蘭西、西班牙、葡萄牙、伊太利及ビ羅馬尼亞ノ諸國トス、

一 佛蘭西國記

- (1) 佛蘭西ハ歐洲大陸ノ西北隅ニ位セルモノニシテ、北ニ英吉利海峽ヲ受ケ、西ハ大西洋ニ瀕シ、南西ハピレニス山ニ依テ、西班牙ト界シ、南東ハ地中海ニ臨ミ、東ハ伊太利、瑞西、日耳曼及ビ白耳義ノ國境ニ接ス、面積二十萬四千方哩、東西或ハ南北ノ長サ六百哩トス、
- (2) 地勢、セヴン山東南ニ起リ、コト、ド、オル及ビラン

グレンノ高原ヲ追テ北走ス、其東方ニヴスゲス山アリ、而シテ兩山脈間ニローン河南流シテ地中海ニ入ル、然リ而シテ前陳山峯又小脈ヲ爲シテ、更ニ西方及ビ北方ニ波及ス、故ニ大西洋、英吉利海峽或ハ北海ニ朝スル川河アリ、

歐洲ノ最高峯モンブラン(高サ一五、七七七呎)ハ佛國內ニアリ、伊國及ビ瑞西國トノ境界ニ起ル、ピレニス連峯ノ最高嶺ピクド、チトウ(高サ一一、一六八呎)ハ西班牙トノ境界ニアリ、中央ニハアウヴェルン火山地方ニモンドール聳立シ、高サ六、千八百八十呎ニ達ス、佛蘭西ノ低地ハ大西洋瀕及ビ地中海岸ニアリ、和蘭若クハ白耳義ノ低地ノ如ク平坦

河川

ナラズ、其間丘阜伏起ス、

(3) 川河、主要ノ川河ハ皆西北流ス、舟楫ノ便アルモノハ左ノ如シ、ガロン河ハピレニス山中ヨリ出テ、西北流シ、ジロンド灣ニ至リ海ニ入り、ロアル河ハ佛國ノ最長川ニシテセヴン山中ニ起リ、國ノ中央ヲ蜿蜒流シテ、ナシテスニ到リ海ニ注グ、セイン河ハコトド、オル山中ニ源ヲ發シ、西北流シテ英吉利海峽ニ入ル、ミウス河ハ源ヲヴスゲス山中ニ發シ、和蘭ニ入り、ライン河ト連續シテ海ニ朝ス、前陳諸川ハ佛國ノ運漕路トシテ、極メテ緊要ナリ、而シテ諸川ノ舟行シ得ルノ距離ハ總計五千五百哩トス、又曰クローンハ大川タリト雖モ、稍急流ナル

ヲ以テ、舟行ノ便ナシ、
運河百五十哩アリ、諸川ヲ接続ス、今其著名ナルヲ舉グレ
ハマルンライン運河(最長ニシテライン及ビマルンノ兩
川ヲ接続スルモノ)及ビミディ運河(カロンノ上流ヲシテリ
ナン潯ト接続スルモノナレバ、即チ大西洋及ビ地中海ヲ
接続スルモノタリ)ナリ、

(4) 氣候、
佛蘭西ハ歐洲ノ中帶ニアルヲ以テ、其氣候
ノ朗清タルハ大陸ニ冠タリ、而シテ東北ニハ稍大陸氣
候ヲ顯シ、西北ニハ沿岸氣候ヲ有ス、南方ニハ亞非利加
ノ熱風時々來襲シ、ローン溪ニハアルプス山ノ寒風時
ニ或ハ颶ヲ起ス、

今物産ノ異同ヲ辨ゼンニセヴン山ノ東南ヨリローン河
溪ニハ橄欖生シ、カロン河口ヨリストラスブルグニ一線
ヲ畫スレバ、之ヲ以テ玉蜀黍產地ノ南界ヲ定ムヲ得ベク、
北緯四十七度ヲ以テ葡萄產地ノ北界ト爲スベク、而シテ
其西北ヲ即チ小麥產地ト稱スベシ、

(5) ピレニス、ランド或ハヴスゲス諸山ノ赭地ヲ除ク
ノ外、國內概ネ耕作ニ適スルノ地タリ又、曰ク佛國ハ極
メテ森林ニ富シ國タリシガ、前二百年間ニ大ニ濫伐セ
シヲ以テ、山林著シク減少セシト雖モ、輓近ニ至リ之ヲ
恢復スルヲ勤メテ怠ラズ、

今日ノ調査ヲ以テ視レバ、全國八分一ハ森林ニシテ、其範

圍最大ナルヲ巴里及ビロアル河間ノオリアンヌ並ニフ
 ンテンブロウノ森林、東南ノヴァル山林、及ビジュラ並ニヴァス
 ケスノ山林トス、ローン河溪ノヴァウクルスニハ檜繁茂シ、
 多ク菌ヲ生ス、ブリタニノ西部ハ耕地タリト雖モ、アウヴァ
 ルン、セヴン、ピレニス、アルプス等ニハ造林盛ニ行ハル、葡
 萄ハ西北ノ諸縣ヲ除クノ外、諸所ニ培養ス、其種類千四百
 ニ超過スト云フ、而シテ東方ノシャンペイン並ニバルガン
 デ、葡萄及ビ西南ノシロンド河溪葡萄ヲ以テ最佳品トス、
 北部ニハ小麥、麻及ビ甘菜アリ、東南隅ニハ橄欖ヲ産ス、林
 檜ハノルマンディニ廣ク培養シ、橙、柑、及ビ柘榴ハ地中海瀕
 ニ生ス、牛馬羊羚ノ牧養盛ナラズ、野獸ニハ熊、狼、狐、及ビ猪

國民

アリ、

(6) 國民、南方ニハ羅馬人、イベリア及ビ「ケルト」人ト
 混合シテ、深色矮小活潑ノ人ヲ來セリ、之ヲ今日ノ南方
 佛人トス、而シテ北方ニハ多少日耳曼人ノ原素ヲ混ズ
 ルヲ以テ、此地ノ佛人ハ丈高ク、綠眼ニシテ、其性質南方
 人ノ如ク輕躁ナラズ、人種ノ別如斯クナルヲ以テ、國語
 モ自ラ南北ノ兩派ニ別ル、而シテ其間幾多ノ郷語アリ、
 「ケルト」人ノ純粹ナルハ「ブリタニア」ニ多ク、西「ピレニス」ノ
 「パスク」人ハ全ク「イベリア」人タリ、而シテ東南ニハ伊國人、
 白耳義國境ニハ「フレミング」人アルサス、ローレンノ邊ニ
 ハ日耳曼人多シ、總人口凡三千六百萬餘、而シテ佛國タル

ヤ善良ノ國民ヲ有スト雖モ、其増加ノ度ニ至リテハ、他歐洲諸邦ノ如ク較著ナラストス、

(7) 宗教、教育、佛國ハ羅馬加特力教國タリ、布勒的斯丹德教ヲ信スル者僅少ニシテ、其信者多ク西南ニ居ル、國民ノ教育ハ政府之ヲ監督シ、其一部ハ之ヲ僧侶ニ委ヌ、千八百七十二年ノ調査ニ依ルニ、丁年者ニシテ讀書シ得ザルモノ全數三分一ニ超過セリ、然レドモ教育進歩ノ度ハ地方ニ從フテ、大ニ其赴キヲ異ニシ、東北ニ最モ盛ニシテ、西方ニ極メテ萎縮ノ狀ヲ呈ス、

佛國大學ハ各府ニ支嶺ヲ有スルモノニシテ、文學、理學、法學、神學並ニ醫學ノ高等科ヲ授クル所タリ、佛語ハ其語勢

優美ナルヲ以テ、歐州ノ上等社會ニ廣ク行ハレ、其文學モ亦諸人ノ好修スル所タリ、夫レ然リ、然リト雖モ佛國ガ文明社會ノ上流ニ向テ、其勢力ヲ逞フスルハ、其實佛語ノ優美、佛文ノ快活ナルニ非スシテ、其首府巴里ノ新樣能ク貴嬢紳士ヲ籠絡スルニアランカ、
勇壯、銳敏ニシテ而モ活潑ナルハ佛人ノ通性タリ、然レドモ亦輕躁、浮薄ニシテ、虛飾ヲ好ムノ嫌ナキニ非ズ、之佛人が深ク日耳曼ニ反スルノ點タリ、

(8) 產業、貿易、佛國人ハ主ニ農業及ビ牧畜ニ從事ス、農産ハ葡萄及ビ葡萄酒ヲ以テ最モ較著ナルモノトス、
「シャンペイン」酒ノ釀造ハセイム及ビ「シャロン、スル、マルン

ナ中央トシ「バルガンディ」葡萄酒ハ主ニディジョンニ製シ、ク
ラレト「ハ西南ノ「ボルドウ」ニ造ルナリ葡萄酒醸造ノ副
産物ニ耐及ビ「ブランディ」アリ、其石量良ニ少々ニ非ズト
ス、

織物業ハ佛國工業中最モ主要ナルモノタリ、里昂ハ佛國
第二ノ都府ニシテ、人口三十四萬餘ヲ有シ、絹布製造ノ中
央タリ、サオン及ピロイン兩河ノ合スル所ニ位ス、聖エティ
ンハ里昂ノ西南ニアリ、人口十二萬六千餘ヲ有ス、綿布製
造上第二ノ地位ニ居ル、而シテ之ニ次グハロイン河口ノ
ナイム、ロアル、河邊ノトール及ビ巴里府是ナリ、南方ニ於
ケル内地貿易並ニ工業ハガロン河邊ノトロウ(人口一三

一、〇〇〇餘)及ピロイン河口ノモントペリユニ集合シ、絨
布、麻布並ニ綿布ノ製造ハ殆ド北方ノ地ニ限ルナリ、今製
造場ヲ以テ著名ナル都市ヲ舉グレバリール(人口一六三、
〇〇〇餘)其近傍ノルーベイ及ビトールコアン、其東南ノカ
ムブレイ、ドゥアイ、ヴァレンシエン及ビ聖クエンティン、セイ
ン、シアンペイン州ノレイム、アルテン河岸ノセダン、佛領ロ
ーレンノナンシ等ナリ、又サルテ河岸ノル、アン、ロアル河
岸ノアンセル、其西北ノレーンハ南部ニ於テ絨布並ニ綿
布ノ製造ヲ以テ知ラル、巴里ニ於テハ專ラ貴重ノ絨布ヲ
製スルノミ、

セーヴルハ磁器ノ製造ヲ以テ最モ著名ニシテ、之ニ次グ
ハヴイエン河岸ノリモゲタリ、玻璃ノ製造ハ北部ニ盛ナリ、
巴里ニモ亦佳美ノ玻璃器ヲ製ス、瑞西國境ノベサンソン
ハ時辰器ヲ製スルヲ多シ、

(9) 鑛山業モ亦盛ナリ、石炭ハロアル及ビローン兩河ノ
上流ヨリ、北白耳義ニ達ス、而シテ年々ノ採出千七百萬噸
ニ下ラズト雖モ、尙國ノ需用ヲ充スニ足ラザルヲ以テ、多
ク白耳義、日耳曼並ニ英國ヨリ輸入ス、鐵ハ十一州ニ産シ、
其質モ亦善良ナリト雖モ、鐵產地ニ薪炭乏シキヲ以テ、精
鍊ヲ外國ヨリ輸入スルノ量少ナカラズ、里昂西南ノ聖エ
ティーンハ大砲及ビ機械ノ製造ヲ以テ著名ニ、又石炭產地

中央ノル、クレヅニモ亦有名ノ製鍊所アリ、

(10) 佛國ノ貿易ハ唯英國及ビ合衆國ノ兩國ニ一步ヲ讓
ルマデニシテ、極メテ繁昌ノ勢アリ、之ヲ地勢ニ徴スルニ
三方ハ往來頻繁ノ海ニ面スルノミナラズ、鐵道亦一萬四
千哩ニ達シ、之ガ交通ヲ助クルナリ、海港ノ緊要ナルヲ舉
グレバ地中海ニ馬耳塞(人口三二〇、〇〇〇餘)ビスケイ灣
ニボルドウ(人口二一五、〇〇〇餘)及ビナンテス、英吉利海
峽ニハーヴル(人口九二、〇〇〇餘)ブロン、カレイイ及ビダン
カルリアリ、而シテ前陳ノ諸港ハ皆歐洲首府ノ首府タル
巴里ニ屬スト云フベシ、蓋シ人口(二、二二六、〇〇〇)上ヨリ
云ヘバ巴里ハ倫頓ニ劣ルト雖モ、其風俗ノ華美、其家屋ノ

偉壯ニ至リテハ、誠ニ天下ノ大都ト稱スルノ外ナシ、
 (11) 佛國ノ軍港ヲ舉グレバ、西北岸ニセルブルグ及ビブレ
 レストアリ、ビスケイ灣ニロリエント及ビロチフォルトア
 リ、地中海岸ニトロロンアリ、ニス及ビケートンハ冬日人ノ好
 テ輻湊スル所タリ、佛國ニハ壘營百有餘アリ、北方及ビ東
 北境ノ市村ノ如キハ皆兵營ト稱シテ可ナリ、ブリアンソ
 ンハモン、セニス險ノ南ニアリ、佛國城ヲ築テ此險ヲ守
 ル、親ヲ謂ヲク之不拔ノ壘タリト、

(12) 政、体、分、割、 佛國ノ政体ハ屢變更セシ所タリ、而シ
 テ今日ハ共和政ヲ以テ國ヲ建ツ、現行憲法ハ千八百七
 十五年ヲ以テ制定セシモノニシテ、之ニ依リ、立法權ヲ

國會及ビ元老院ニ置キ、行政權ハ大統領之ヲ掌握シ、責
 任內閣之ニ參與ス、
 革命以前ハ國內ヲ分テ州トセシガ、今日ハ之ヲ八十七
 縣ニ分割ス、

伊比利亞半島

最初伊比利亞全体ノ風土並ニ人口ヲ論ジ、後ニ本半島
 ニ建國セル西班牙及ビ葡萄牙兩國ノ叙事ニ及ブベシ、
 (1) 廣、袤、 伊比利亞半島ハ歐洲ノ西南隅ニアリ、其概
 形四方形ニシテ東西或ハ南北ノ長サ凡五百哩、面積二
 十二萬八千方哩餘トス故ニ英國ニ四倍シ、又日耳曼帝
 國或ハ佛蘭西ヨリ大ナリ、

(2) 地勢、半島ノ全体高原或ハ山村ニシテ、深山幽溪ニ連リ、殆ド其盡ル所ヲ見ズ、其峻峯ニ至リテモ亦歐洲ニ魁タルモノアリ、

伊比利亞半島ニ東西ニ横ハル五流ノ山脈アリ、最北ナルハビレニス(高サ一一、一六八呎)及ビカクタブリア(八、七四〇呎)ノ連峯ニシテ、其餘波西ノ方フニステル岬ニ達ス、第二ハエブロ及ビドゥエロ兩河間ニ隆起セルグアダラマ、グレド、ガタ、及ヒエストレラノ諸嶺ニシテ、ロラ岬ニ到ル、第三ハタグス及ビグアデアナ兩河間ニアルトレド、グアダルプ並ニマメドノ諸峯ナリ、第四ハモレナ及ビモンチクノ連峯ニシテ、東ナチ岬ヨリ西ヴンセント岬ニ達ス、ナラ

岬ノ東方ニ三島アリ、イヴヰカ、マシオルカ及ビミノルカト稱ス、共ニモレナ連峯ノ餘波ト看做シテ可ナリ、第五ハ即チ地中海ニ對峙スルモノニシテ、之ヲシーラ、チヴヰト稱ス、其高峯一一、六六一呎ニ達シ、東南ガタ及ビパロ岬ヨリ南端ノトラファルガル、タリファ、及ビシブラルタルニ至ル、之ヲ最南ノ山脈トス、

半島ノ過半ハ緒地ノ高原ニシテ、カクタブリア及ビグアダラマノ兩山間ニアルチ舊城^{オールドカウスル}及ビレオンノ高原ト稱シ、グアダラマ及ビマレナ間ナルチ新城^{ニウカウスル}及ビエストレマドゥラノ高原ト云フ、前者上ニヴァラドリド府アリ、後者ハマドリド府ヲ載ス、

(5) 氣候、地形、伊比利亞半島ハ廣袤大ニシテ、土地ノ高低亦様々ナレバ、氣候ノ地方ニ從フテ異ナルハ、固ヨリ論ヲ俟タズ、而シテ其東南端ニアリテハ、殆ド熱帶ノ氣候アルモ、北方ハ大氣頗ル寒冷ナリ、

西北ノ沿岸地ハ氣候濕潤ニシテ、霧深ク、雨多シ、マイムブ
ヲノ如キハ一年ノ雨量一一八吋ニ達ス、此地亦冬間長ク、
寒風屢冠雪ノ嶺峯ヨリ吹下ス、其地形ヲ云へバ丘陵溪谷
ト相隣シ、其間河水溶々トシテ流ル、川ニ魚鼈多シ、高地ニ
ハ松柏アリ、低地ニハ栗樹及ビ林檎ヲ産ス、穀物葡萄等ハ
廣ク之ヲ培作ス、中央ハ緒地ノ高原ニシテ、山林其間ニ交ハ
ル、氣候亦清朗ナリ、然レドモ冬間ハ寒風緒地ノ高原ヨリ

來襲シ、夏日此地ノ熱セラルト最モ甚シトス、馬德里府近
傍ニハ、冬間川河堅氷ノ封鎖スル所タルモ、夏日ハ新城高
原一帶ノ沙漠ノ如シ、高原ノ低部ニハ穀物、葡萄及ビ橄欖
樹アリ、又高原ヲ降り、南方ニ至レバ、氣候熱帶地方ノ如ク、
森林鬱蒼トシテ、春秋共ニ快清タリ、但夏日ノ熱ハ殆ド堪
ユルベカラズ、此地ノ特産ハ橙、棗、椰子、甘蔗、綿及ビ米トス、
葡萄牙ハ瀕海國タルヲ以テ、内地ノ如ク夏日酷熱ナラズ、
而シテ冬分ニハ北方ノ連峯ニ降雪スルヲ屢ナリ、春ハ年
始ト共ニ來リ、作物ノ收穫ハ中夏ヲ以テ之ヲ終ユ、
(6) 北方及ビ中央ノ山地ニハ鹿、熊、狼及ビ山羊等アリ、歐
ハエプロ河領ニ多ク、野羊ハ南方ノ山中ニ出沒ス、シブラ

ルタルニハ巴爾巴利猿アリ、火鶴ハグアメルシイブル下流ニ多ク、變色蜥蜴ハマラガノ近傍ニ棲息ス、

(7) 人種 半島ノ土苗ハ伊比利亞人ナリト雖モ「ケルト人」「フニシア人」羅馬人「日耳曼人」「ムア」人等交來襲シ、之ト雜混セシヲ以テ、大ニ其性質ヲ變更セリ、半島ノ總人口凡二千百萬、

「イビリア」人ノ子孫ハカンタブリア山中ニ居ル勇悍獨立ノ「バスク」人是ナリ、其數凡五十萬、「ゴス」人ノ後裔ハ「ドゥエル」河南ノ山中ニアリ、亞良比亞人ノ血統ハ南方及ビ東方沿岸地ノ住民ニ存ス、羅馬人ハ即チ伊比利亞半島ニ國語ヲ與ヘシモノニシテ、西班牙語及ビ葡萄牙語皆其一派タ

(8) 宗教、教育、 西班牙及ビ葡萄牙ノ兩國ハ昔日歐洲ニ屈指ノ強國タリシガ、國勢次第ニ衰へ、一時ハ殆ド廢亡ノ秋ニ迫レリ、然ルニ今日ハ國勢復將ニ振起セントス、即チ教育及ビ産業ノ如キ大ニ其面目ヲ改メ、駸々日々ニ盛隆ニ赴クノ徵アリ、然リト雖モ國民ノ過半ハ今尙頑固ニシテ、無學ナリ、羅馬加特力教ヲ以テ國教トシ、他宗人ヲ視ル「恰モ讎敵ノ如シトス、西班牙ノ大學ハ馬德里、サンテアゴ、バルセロナ、グラナダ、セヴィル、ヴァレンシア、ヴァラドリド、オヴエード、サラマンカ及ビサラゴサノ十府ニアリ、葡萄牙ハマイムブラニ大學ヲ有ス、

二 西班牙國記

(9) 西班牙王國ハ伊比利亞半島ノ東南ヲ占メ、面積十
九萬三千方哩、人口凡七百五十萬ヲ有ス、葡萄牙トノ境
界ハ人爲ヲ以テ劃定セシモノニシテ、炮台ヲ築イテ相
互ノ侵喰ヲ守ルナリ、佛蘭西ニ通セルピレニス山路ノ
主要ナルハバムプロナ及ビゼロナノ險トス、

(10) 政體 西班牙ハ立憲王國ニシテ、現行憲法ハ千八
百七十六年ニ裁定セシ所タリ、行政權ハ國王及ビ責任
內閣ニアリ、立法權ハ國王及ビ上下ノ兩議院ニ委ヌ、
行政上國ヲ四十九州ニ分ツ、各州皆地方行政權ヲ有ス、
(11) 物産、産業 西班牙ハ農國タリ、東方ノヴレンシア

及ビカタロニア北方ノガリシア、アストリアス及ビバ
スク地方ハ農業ノ中央トス、アングルシアハ葡萄ノ産
ヲ以テ最モ著名ナリ、乾葡萄ハ主ニアラブ、アリカント
及ビヴレンシアニ製ス、西北ノ地ハ多ク林檎ヲ出シ、橙
無花果及ビ扁桃ハ地中海沿岸ニ産シ、「バルセロナ、ナット」
ハ廣クカタロニア及ビアストリアニ培養ス、アングル
シア駿馬ヲ産ス、其馬半島中ニ魁タリ、騾モ亦較著ナル
モノトス、グアドラス及ビナヴァール産ノ野牛ハ闘牛上
大ニ貴重スル所タリ、蓋シ闘牛ハ西班牙人ノ一般ニ愛
顧スル所ニシテ、年々之ガ爲メニ三四千頭ノ馬ヲ刺殺
ス、牧畜ニハ飼羊業第一位ニアリ、養蠶ハヴレンシア及

ビムルシアニ專ラ行ハル、南部ニハ農民猩々虫ヲ飼養ス、ガリシア、カディツ及ビヴァレンシアノ漁業モ亦緊要ノ産業タリ、

山林ノ濫伐極メテ甚シカリシヲ以テ、西班牙政府輓近意ヲ此ニ注ギ、ヱラウ、シナサニ森林學校ヲ置テ、大ニ森林ノ保存ヲ勤ムルニ至レリ、之ヲ今日ノ調査ニ徵スルニ、全面積五分一ハ森林ニシテ其樹ニハ松柏最モ多シ、西班牙ハ礦物ノ富ヲ以テ、歐洲ニ冠タリ、其緊要ナルハアルマデンノ水銀鑛及ビリヨ、ティントノ銅鑛トス、鉄ハ所々ニ産ス、然レドモ其產地ノ著名ナルハビスケイ、アストゥリ、ムルシア及ビグラナダトス、石炭亦各州ニ産ス、

工業、市、

唯國內交通ノ便宜シカラザルヲ以テ、英國及ビ白耳義ヨリ石炭ヲ輸入スルコト少ナカラズ、食鹽ハ岩鹽及ビ海鹽ノ兩者ヨリ製ス、

(12) 工業、都市、西班牙ハ輓近大ニ工業ノ進歩ヲ來セシト雖モ、之ヲ他歐洲諸國ニ比スレバ、遙カニ其後ニアリ、以是多ク外國製品ヲ輸入ス、而シテ其生糸ハ主ニ佛國ニ輸出シ、メリノ羊毛ハ英國ニ送致ス、

綿糸紡績ハクタロニアノバルセロナ府並ニグラゴナ府ニ集合ス、バルセロナハ工業ヲ以テ有名ナル都府ニシテ人口廿五萬餘ヲ有ス、紙ハ主ニバルセロナ及ビセロナニ製ス、製鍊所ハバルセロナニ最モ多ク、又アストゥリアスノ

ビルバチハ磁鉄鑛及ビ石炭ヲ産スルコト頗ル巨量ニシテ、
即チ西班牙政府ノ造兵廠ヲ置ク所タリ、トレドハ刀劍ノ
煉製ヲ以テ昔ヨリ著名ナリ、煙草精製ハ政府ノ專有スル
所ニシテ、其製造場セヴイル、馬德里、サンタンダル、ジションラ
コルナ、ヴァレンシア、及ビアリカントニアリ、コルドヴァニハ
專ラ革ヲ製ス、又半島ノ南部ニハコルク樹多シ、其皮ヲ製
シテ以テ塞子ヲ作ル、

(13) 貿易、西班牙ハ兩側海ニ面シ、又其沿岸幾多ノ良
港ヲ有スルヲ以テ、其地位貿易ニ極メテ便ナリ、以は一
反衰微セシ貿易モ、今日ニ至リテハ大ニ恢復ノ狀ヲ顯
ハセリ、然リト雖モ西班牙ノ關稅ハ之ヲ他國ニ比スル

ニ、大ニ重歛タリ故ニ、密輸入盛ニ行ハル、内國貿易ノ
中心ハ馬德里府トス、其他商業ヲ以テ有名ナルハドゥエ
ロ河領ノヴァラドリド、バレンシア及ビブルゴスニシテ、
皆北岸ノ津港ト交通ノ便アリ、シラネヴァダ山麓ノグラ
ナダ及ビエブロ河岸ノザラゴザモ亦商市タリ、海港ノ
緊要ナルニハ地中海岸ノヴァレンシア及ビアレカント、
南岸ノマラガ及ビカデイツ、北岸ノサンタンデル及ビサ
ンセバステイアンアリ、又摩洛哥沿岸ノシウタ及ビメリ
ラ港モ西班牙ニ屬ス、

(14) 鐵道ハ四千哩ニ達シ、西班牙所屬ノ商船ハ其數三千
ニ下ラズ、

政體

(15) カタロニアノ北方ピレニス山中ニ安土羅ノ一小獨立國アリ、共和政ヲ以テ國ヲ立ツ、面積僅カニ百五十方哩、人口凡一萬二千ニシテ、六名ノ參與之カ政事ヲ司ル、有名ノシブラルタルハ千七百四年以來英國ニ屬ス、領地ノ長サ三哩海面ヲ抜ク四百呎、堅岩ヲ鑿チ、砲台ヲ構ヘ、精兵五千ノヲ置テ之ヲ守ル、領地ノ總人口ハ實ニ二萬五千餘タリ、

三 葡萄牙國記

葡萄牙ハ伊比利亞半島ノ西南ニ位シ、面積三萬四千六百方哩、人口四百三十五萬餘ヲ有ス、
 (17) 政體 現行憲法ハ千八百二十六年ヲ以テ發布セ

產物業

シモノニシテ、之ニ據リテ王位ヲ世襲トシ、皇男、皇女共ニ之ヲ襲グヲ得、行政權ハ國王及ビ責任內閣ニアリ、立法權ハ上下ノ兩儀院ニ委ヌ、上院議員ハ國王ノ勅撰スル所ニシテ、下院ハ民撰議員ヲ以テ成ル、中央政府ハ首府リスボンニアリ、其人口二十萬餘、葡萄牙ノ最大府トス、
 アゾアル及ビマデイラノ諸島ハ葡萄牙ガ本國ノ一部ト看做ス所タリ、
 (18) 物産、産業 農業盛ナルノ地ハ唯北方ノミンホ及ビ南方ノアルガルヴトシ、其作物ノ主要ナルハ小麥、玉蜀黍及ビ大麥トス、葡萄ハ到ル所トシ産セザルハナシ、

然レドモドロ河領ヲ以テ顯著ノ葡萄培養地トス、有名ノ「ポルト、ワイン」モ亦此地ニ造釀ス、橙、無花果、橄欖、栗等ノ産亦夥シ、近海ニハ漁業盛ナリ、

(19) 工業、各地皆麻布ヲ製ス、綿布ハ主ニオポルト及ピリスボンニ製織シ、絨布ノ製織ハカステロ、ブランコ、グアルダ、並ニリスボンニ盛ナリ、東北隅ノブラガンサハ絹糸業ニ緊要ノ地方トス、

葡萄牙ハ英國トノ貿易ヲ以テ其外國貿易ノ最モ主要ナルモノトス、海港ノ緊要ナルハリスボン、及ビオポルトナリ、

(20) アゾアル群島ハ太西洋外ニアリ、葡萄牙ヲ去ル凡ハ

百哩、其最モ大ナルマイケル島ト云フ、面積二百方哩、多ク橙及パイン、アップルヲ産ス、

(12) マデイラ島ハ風景ノ美、氣候ノ清朗ヲ以テ有名ナリ、摩洛哥海岸ヲ去ル凡四百哩、葡萄、甘蔗、其他多ク熱帶地方ノ植物ヲ産ス、

四 伊太利國記

(1) 伊太利ハ瑞西ノ南方ヨリ、東南ニ延長セル一大半島ニシテ、面積十一萬四千四百方哩アリ、又北瑞西ノ境界ヨリ、南リウカ岬マデノ距離七百哩、北方低地ノ幅即チ佛蘭西及ヒ境地利間ノ距離ハ三百哩ナルモ、半島平均ノ幅ハ百哩ニ過ギズトス、

(2) 地勢 伊太利ノ北方即チアルプス山ノ南麓ハ地
 磬平低ニシテ、海面ヲ拔クヲ實ニ數尺ニ過ギズ此地昔
 日アドリアテイク灣ノ一部タリシガ、ポー河ノ泥土次第
 ニ堆積シ、竟ニ陸地タルニ至レリ、蓋シポー河ハ伊國唯
 一ノ長川ニシテ、源ヲ西北隅ノ山間ニ發シ、東流シテア
 ドリアテイク海ニ入ルモノナリ、河北ニアデイグ川アリ、同
 シク東流シテ海ニ朝ス、
 伊太利半島ハ其形長靴ノ如ク、而シテ其形ヲ爲スハア
 ルプス山ノ一脈東南走シテ、本半島ニ入り、アペニス連
 峯ト成リ、南スバルテイクエント岬迄達スルニアリ、アペニ
 ス山ノ最高峯ヲコルヴ山ト云フ、高サ九、八一〇呎、半島

ノ中央ニアリ、其東西ノ山溪長カラザレバ、半島中從フ
 テ長川ナシ、但小川中ニ著名ナルハ羅馬府ノテ、イヴル
 川及ビフロレンスヲ流過セルアルノ河トス、
 半島ニ稍、著名ノ平地ヲ舉グレバ左ノ如シ、アルノ河邊
 ノ低地ハ海岸ニ達シ、沼多キマレムマト成ル、マレムマ
 ハ沿海地ノ意ナリ、羅馬平地ハ府ノ北方ニアリ、海岸ニ
 達シ、不潔ノ沼地ヲ爲ス、ネアルス平地ハ土地ノ膏腴ナ
 ルヲ以テ著名ナリ、
 アペニス連峯ノ西方ニ一帯ノ火山脈アリ、殆ドアペニ
 ス峯ト並行ス、火山脈中ニ著名ノ嶺峯ヲ云ヘバ、ネア
 ス近傍ニヴェスヴィウス山アリ、巍然トシテ、平地ニ兀立シ、

高サ四千百六十呎ニ達ス、此山昔日噴裂シテ、ヘルクラ
 ネウム及ビポムペイノ兩府ヲ埋没セリ、羅馬府ノ北方
 ニハ此火山脈中ニ幾多ノ圓形湖アリ、舊火山ノ噴焰口
 タルヲ知ルニ足ル、又此山脈ヲ追テ南ニ至レバ、リバリ
 島ノストロムボリ山、獅子里島ノエトナ山(高サ一〇、八
 四〇呎)等皆歐洲地誌ニ著名ノ火山ヲ見ルベシ、
 サルディナ島ハボニフ、シオ海峽ニ依テ、コルシカ島ト別
 ル、南北ノ長サ百五十哩、概ネ山村ニシテ、ジヌアアルゼ
 ンテイノ如キハ高サ六千二百九十二哩ニ達ス、
 エルバ島ハ拿翁王ノ配セラレタル所タリ、伊國及ビコ
 ルシカノ間ニアリ、長サ十八哩、山嶽崎嶇タリ、カプリ島

氣候

ハネプルス灣ノ南ニアリ、而シテカブレラ島ハサルディ
 ナ島ノ北涯ニ位ス、
 (3) 氣候、半島ノ北方ハ溫帶ニ屬スルト雖モ、寒暖ノ
 差頗ル甚シ、中央ハ溫和ニシテ、天氣晴朗、南方ハ殆ド熱
 帶地方ノ氣候ヲ有ス、

ロムバルディ平地ノ溫度ハ平均五十五度ナリト雖モ、冬極
 メテ寒シ、夏甚ダ暑シ、然レドモ天氣ノ變更實ニ稀ニシテ、
 秋期ニ少シク雨アリ、夏ハ雷鳴驟雨ノ至ルニ非ザレバ、晴
 天ナラザルハナシ、東風ハアドリアティク海ヨリ濕氣ヲ送
 リアルプス山ヨリ吹來スル西風之ヲ排除ス、然レドモ川
 河ニ水溶々タルヲ以テ、十一月ニ東風來レバ、濃霧ヲ起ス

ナリ、フロレンス近傍ニハ冬稍温暖ナルモ、夏日熱氣甚シ、然リ而シテ寒暖ノ差ハ南方ニ赴クニ從ヒ、彌減少ス、羅馬平地ノ夏熱ハ殆ド堪ユベカラザルニ至ルコトアリ、然レドモ一月ニハ天氣晴朗ニシテ、三月ニ樹木新緑ヲ裝ヒ、六月ニ作物ヲ收メ、七月ニハ草木熱氣ノ爲メニ皆枯死セントス、而シテ秋風雨ヲ送ルノ期ニ際シ、苗勃然トシテ復起ルノ勢ヲ呈ス、又チブルス近傍並ニ南伊太利ニハ天ニ浮雲ナク、大氣清潔ニシテ、廣原ニ出レバ殆ド遠近ヲ辨ズベカラザルノ觀アリ、之ヲ要スルニ伊國ノ氣候中、吾人ノ最モ忌嫌スルハ北方ノ寒風、南方ノ熱風、及び西岸ノ疫病ニアリ、

人種
記國利太伊門事記

(4) アルプス山ノ南麓ニハ地上海邊産ノ樹木アリ、攀登シテ二千五百呎ノ高キニ達スレバ、松柏及ビ其他ノ高山樹ヲ見ルノミ、ロムバルディ平地ハ疏水用溝極メテ多ク、耕耨周到ニシテ、其觀園壇ノ如シ、アペニス山ノ北麓ニハ檜樹ノ類多ク、其上檜樹帯アリ、而シテ之ヲ過グレハ山毛櫸帯ニ入ル、ゼノア灣頭ニハ橄欖、橙、扁桃等アリ、而シテ獅子里島ニ入レバ、樹木全ク亞非利加ノ産ノ如シ、

(5) 人種、現今ノ伊太利人ハ其數實ニ三千餘萬ニシテ、原來諸人種ノ混同セシモノナリ、之ヲ歴史ニ徵スルニ、古來北方ニ「リグリア」及ビ「ウムブリア」ノ兩人種アリシガ、互ニ相混同シテ「エトラスカン」人ヲ生シタリ、蓋シ

「エトラスカン」人ハ羅馬人ノ所謂ル「トッスカン」人ニシテ、其歐洲開化ニ與リテ功アリシハ、良ニ大ナリトス、南部ハ希蠟人ノ殖民セシ所ニシテ、「フ」ニシア「人」ト共ニ獅子里ヲ領シタリ、羅馬人ハ中央ヨリ次第ニ四方ニ蔓延シ、其吞欲ヲ逞フセシガ、其稍衰フルニ及デ、「ゴス」人、「フ」ク「人」ロソゴバルド「人」等北方ヨリ來襲シ、一時羅馬中原ノ鹿ヲ獲ルニ至レリ、佛國境界邊ニ住ム「サヴヤルド」人並ニ「ワルデンス」人ハ「ゴール」人ノ後裔ニシテ、サルデイナ島ニハ北方人種ノ來襲セシヲナシト雖モ、其希臘人、亞良比亞人、西班牙人等ノ氣風ニ感化セラレシヲ少ナカラズ、

教育宗

(6) 教育、宗教、伊國ニハ古代及ビ中古ニアリテ、彫刻、建築、繪畫等ノ術大ニ開ケ、之カ達人出テ、後世ニ模範ヲ遺セシモノ少ナカラズ、又今世ニアリテモ、伊國ノ音樂者並ニ詩仙ヲ輩出センメシハ、一ニシテ足スト雖モ、無學文盲ノ徒今尙多數ヲ占ム、伊國ニ乞丐多シ、暴虐無賴ノ徒亦少ナカラズト云フ、

世態如斯クナルヲ以テ、王國ハ之ヲ改良セントシテ汲々タリ、故ニ寺院ノ財貨ヲ沒收セシモノハ、皆之ヲ教育費ニ充用セリ、而シテ高等教育ニ至リテハ、準備周到、大學ノ如キモ已ニ二十有二アリ、

國教ヲ羅馬加特力教トス、然レドモ僧侶ノ參政權ヲ撲滅

政體

セシ以來、完然タル宗教自由ヲ見ルニ至レリ、

(7) 千八百五十九年以前ニハ、伊國半島別レテ幾多ノ獨立國ヲ爲セシガ、千八百六十年ヅクトル、エマヌエル王起リ、一撃以テ伊國ヲ征服シ、竟ニ伊太利國王ノ號ヲ稱ヘタリ、此時ニ當リ、埃國尙ヅチテイアナ有シ、法王亦數州ヲ領シタリ、然ルニ千八百六十六年ヲ以テ、埃國ハヅチテイアヲ放棄シ、千八百七十年ヲ以テ羅馬府伊國兵ノ陷ル所ト成リ、於是乎伊國統一ノ大業全ク局ヲ結ビタリ、

(8) 政體、現行憲法ハ千八百四十八年サルディニア國王ガ其人民ニ授與セシナ、修正セシモノナリ、之ニ依リ行政權ヲ國王及ビ責任內閣ニ委ネ、立法權ヲ上下ノ兩

物産々

院ニ委ヌ、但上院ハ皇族及ビ勅撰議員ヲ以テ成ルモノニシテ、下院ノ議員ハ盡ク人民ノ撰舉スル所タリ、行政上國ヲ六十九州ニ分テ、內閣ハ知事ヲ各州ニ於テ之ヲ治メシム、

(9) 物産産業、伊國全面積ノ八分餘ハ耕耨ニ適ス、而シテ其最モ豊饒ナルハロムバルデ、及ビネプルスノ平原トス、然レドモ穀物ノ收穫未ダ需用ヲ充スニ足ラザルヲ以テ、多ク露西亞、埃及或ハ北米ヨリモ之ヲ輸入ス、玉蜀黍及ビ小麥ハ下等社會ノ常食料タリ、

森林全國ノ六分一ニ擴ル、而シテサルディニア島ノ山林ヲ以テ第一トシ、ナスカニ及ビゼノアノ森林之ニ次グ、橄欖

樹ハ諸所ニ生ス、之ヨリ巨量ノ良油ヲ製ス、葡萄酒ハ主ニ南伊太利及ビ獅子里ニ製シ、牛馬ハ最モ多ク、ロムバルディニ飼養ス、グスカニハ羊ハ以テ著名ニ、獅子里ニハ驢及ビ驢ヲ出ス、家飼養ハアムブリアニ最モ盛ナリ、沿海ノ漁業ニハ人夫二萬六千舟五六千ヲ用、ニ、珊瑚漁獲者ハチブルス、レグホルン及ビゼノアヨリ出テ、多ク亞非利近海加ニ到ルナリ、

鑛産ノ最モ重要ナルヲ獅子里島ノ硫黃トス、鉄ハ各州ニ産スト雖モ、産出多キハロムバルディ及ビリグリアニアリ、鉛ハグスカニニ産シ、サルディニア島ニハ鹽ヲ製ス、有名ノ白色大理石ハグスカニノ西北ナルカララ及ビマッサニ於

工

貿易

テ探掘ス、

(10) 工業、ミラン製絨ヲ以テ著名ニ、ヴェニス染業ヲ以テ、其名ヲ博シ、フロレンス絹布ヲ以テ歐洲ニ冠タリシハ、即チ伊國工業ノ隆盛ヲ極メシ時タリ、然レドモ今日ニ至リテハ、斯業漸ク衰へ、復昔日ノ觀ナシ、

養蠶及ビ製糸業ヲ以テ、伊國工業ノ冠タルモノトス、其業ロムバルディ、チブルス及ビ獅子里ニ盛ナリ、玻璃ノ製造ハ大ニ衰微セシト雖モ、ヴェニスノ玻璃琉、並ニ玻璃象眼製造ノ如キハ今尙緊要ノ工業タリ、陶器ハ主ニミラン及ビフロレンスニ製ス、

(11) 貿易、伊太利王國ハ半島ヲ爲スヲ以テ、海漕ノ便

固ヨリ宜ト雖モ、北方アルプスノ大嶽磐居シテ、大陸トノ交通ヲ閉塞ス、於是乎伊國ノ政事家並ニ商家ハ未曾有ノ大工事ヲ起シ、鐵道ヲ千仞ノ溪ニ架シ、墜道ヲ萬丈ノ山ニ鑿テ、竟ニ大陸トノ交通ヲ自由ナラシメタリ、伊國ノ外國貿易ハ主ニ佛國、英國、埃國及ビ瑞西國トノ間ニ行ハル、輸入品ニハ穀物及ビ綿布ヲ主要ノモノトシ、輸出物ニハ絹、油及ビ硫黃アリ、洋征船一萬千餘隻ヲ有ス、海港ノ主要ナルハ西北ニゼノアアリ、西岸ニレグホルン、シヰタ、ヰクチア及ビチプルスアリ、東涯ニヰニス、アンコナ及ビプリンディシアリ、而シテパノルモ、メシナ及ビカクニアハ獅子里ノ要港トス、

(12) 伊國ノ海軍ハ方今歐洲ニ勇名ヲ轟スモノニシテ、萬國無比ノ巨艦二隻アリ、各百噸砲ヲ備フ、軍港ハスベチアニアリ、ロムバルテ平原ノ東方ニ位セルマントリアハ歐洲最強ノ兵壘タリ、之ニ加フルニ、ペシエラ城、ヴェロナ城及ビレグナゴ城アリ、此四壘ハ即チ有名ノ四強城クワドワラテラヲ爲スモノナリ、

(13) チプルスノ近傍風景佳美ニシテ、土地亦豐饒ナルヲ以テ、此府昔日獅子里王國ノ京城タリキ、其人口四十五萬餘、羅馬府ハ七丘頭上ニアリ、法律ノ淵源、政學ノ發生セシ所ニシテ、又多ク珍寶奇器ヲ集ム、人口三十一萬餘ヲ有ス、前兩府ニ次グハミラン(人口二六二、〇〇〇)及ビローリン(人

口二一四、〇〇〇)ニシテ、ハレルモ(人口二三二、〇〇〇)フロ
 レンス(一六八、〇〇〇)セノア(人口一六三、〇〇〇)及ビヴェニ
 ス(人口一二五、〇〇〇)又之ニ次グモノダリ、

(14) アペニス連峯ノ東北ニサン、マリノノ共和國アリ、獨
 立ニシテ、未ダ伊國ニ屬セズ、面積僅ニ廿四方哩ニシテ、人
 口八千、將軍兩名及ビ元老院ニ於テ、其政事ヲ司ル、

(15) マルタ群島ハ獅子里島ノ南六十哩ノ所ニアリ、地理
 上伊國ニ屬スト雖モ、今ハ英國ノ支配スル所ニシテ、堅城
 アリ、軍港アリ、又造船場アリ、故ニ英國ノ地中海艦隊ニ於
 テハ、良ニ緊要ノ地ト云フベシ、

五 希臘國記

(1) 希臘王國ハ歐洲東南ノ半島三分一ヲ占ム、國內山
 峯羊腸、溪谷崎嶇トシ、沿岸ニハ灣岬峽澳多シ、泰西ノ地
 理學家曰ク、地形ニ異同多キハ希臘國ヲ以テ第一トス
 ト、此言良ニ然リ、

大陸ニ接スルノ地ナルメリアト云ヒ、其南ニアルナモ
 レアト云フ、其間コリンスノ地峽アリ、最狹ナル所幅四
 哩ニ過ギズ、エギアン群島並ニイオニアン群島ノ過半
 モ亦希臘ニ屬ス、總面積二萬五千三百方哩、

(2) 前已ニ陳ベタルガ如ク、沿岸ニ灣岬頗ル多シ、之ヲ
 述センニ、西北ニアルク海アリモレアハコリンス海ヲ
 テ、僅カニルメリアニ接續スルノミ、モレアノ西岸ニハア

ルカディア灣アリ、其南コロシア及ビラコニアノ兩灣ヲ爲シ、此ニ三地角ヲ顯ス、東涯ニハナウプリア及ビ雅典^{アセ}ノ兩灣アリ、エウピア長島ハエグリボ及ビクランタノ兩海峽ニ依テ、陸地ト分別ス、エウピア島ノ北ニ、ヴォロ灣アリ、之ヲ東北ノ深灣トス、

(3) 希蠟所轄島ノ最大ナルチエウピア島トス、長サ百哩餘、其東北ニスボレツ群島アリ、スキロ及ビスコペロヲ群島中ノ著名ナルモノトス、雅典灣中ニサラミス及ビエギナノ兩島アリ、其東南ニサイクレツ群島アリ、「サイクレツ」ナル語ハ圍繞ノ意ニシテ、其名諸島ノデロス島ヲ圍繞スルニ起ルナリ、其他群島中ニ著名ナルハアンドロス、テイノ

地勢

ス、シラ、ナクソス、パロ、ミロ、アムルゴ、サントリン等ノ諸島アリ、又イオニアン群島中ニアリテハ、コルフ、レウカディア、聖マウラ、イタカ、ケフアロニア、ザント、セリゴ等ノ諸島ヲ以テ較著ノモノトス、

(4) 地勢、地勢犬牙ノ如ク、奇峯怪嶽伏起シテ、瀾波ニ似タリ、以是海岸皆絶壁、其觀極メテ偉壯ナリ、然レドモ整然タル山脈ナク、唯俊嶺鋭嶠ノ諸所ニ磐居スルノミ、而シテ其著名ナルチ舉グレバテサリ連山ノオリムパス峯、或ハ其東派ニシ、テヴォロ灣頭ニ兀立セルオトリス山若クバ五峯山ノ如キ是ナリ、而シテモレアニ南走シテ、三地角ヲ爲セルバルノ山ノ如キモ、亦著名ノモノ

タリ、

希蠟ノ最高峯ヲオリムパストス高サ九千七百五十呎、巍然トシテエギアン海瀕ニ起ル、其近傍オッサ及びペリチンノ兩峯アリ、前者ノ高サ五千二百五十呎、後者ハ五千百三十呎ニ達ス、ピンダス連山ノ最高峯ハオリムパスニ及バズト雖モ、尙八千二百四十呎ノ高キヲ致ス、之ヲキチナ峯ト云フ、ルメリアノ中央ニアリ、其東南ニリアンラ峯(古史ニ所謂ルバルナツサス峯)アリ、其高サ殆ドキチナ峯ニ均シ、モレアノ最高峯ヲ聖エリアストス、中央地角ノ南端ニアリ、而シテ又平原ニハピンダス連峯及び海岸間ノテサリ平原、コリンヌ灣頭ノベラティア平原及びニコロン灣頭ノメ

セナ平原等ノ廣大ナルモノアリ、

(5) 川河、國內峻嶠多ク、國ノ幅員亦大ナラザルヲ以テ、川河概ネ短小ニシテ、舟楫ノ便キハ固ヨリ論ヲ俟ズ、而シテ其水量ニ至リテハ、季節ニ從フテ、大ニ増減アリ、舟楫ノ便ヲ有スル川唯一アリ、之ヲサラムブリアト云フ、源ヲピンダス山中ニ發シ、テサリノ沃野ヲ過ギ、オリムパス及びピオッサノ間ヲ流レテ海ニ朝ス、又其他ノ川ヲ述ベンニ、アスプロプタモ川ハエピラスヲ通過シ、パトラス灣頭ニ至リ、海ニ入ル、マプロ川ハバルナサス山麓ニ起リ、東走シテ、トボリアス湖ニ入ル、湖ノ幅十哩、地下ノ水道ニ依テ、其水海ニ通ズ、但トボリアス湖ハ希蠟ノ最大湖タリ、ルフ

人種

(6) 氣候 雪ハ唯俊嶺ニ兩三月間堆積スルノミ、夏日ハ天氣晴朗ニシテ、暑熱頗ル強ク、此季沿地ニ疫病ヲ發スルヲ屢ナリ、南方ニハ熱風往々亞非利加ヨリ來ル、然レドモ北風ハ寒冷風タリ、概シテ云ヘバ氣候溫和ニシテ、健康ニ宜シ、

(7) 人種 希蠟國ノ人民ハ舊希蠟人ノ後裔ニシテ、丈高ク、肉瘦セ、鼻隆準ニシテ、頭髮黑ク眼光炯々タリ、愛國心深ク、獨立ノ精神隆ナリ、國語ハ新希蠟語ニシテ、舊希

宗教々

蠟語トノ關係極メテ緻密ナリ、總人口百九十八萬餘、

(8) 宗教々 育 希蠟人ハ過半希蠟教ヲ奉ズ、然レドモ亦羅馬加特力教ヲ信ズル者多少アリ、而シテテサリニハ回々教信者多シ、

希蠟ガ土耳其ノ虐政ヲ脱シテ、獨立セシハ蓋シ輓近ノ事タリ、而シテ今日ニアリテハ、國內靜謐ニシテ、産業ノ大ニ面目ヲ改メタリ、

政府甚ラ普通教育ニ注意シ、即チ日耳曼國ノ法ニ則リ、子弟ニ普通教育ヲ授ルヲ以テ、父兄ノ義務トセリ、然レドモ改革日尙淺キヲ以テ、丁年者ノ半數ハ未ダ無學ノ徒タルヲ免レズ、千八百三十七年ヲ以テ、大學ヲ雅典府

ニ開ケリ、而シテ其學生ノ數已ニ千二百餘ニ達ス、
 (9) 政體、現行憲法ハ千八百六十四年ヲ以テ制定セ
 シ所ニシテ、行政權ハ之ヲ國王及ビ責任內閣ニ委ネ、立
 法權ハ民撰ノ衆議院之ヲ掌司ス、

(10) 物産、産業、希蠟國ノ地耕耘ニ適スルモノ全面積
 ノ三分一ニ過ギズ、而シテ已ニ耕耨ヲ受ケタル所僅カ
 ニ其一半トス、

山腹ニハ森林多ク、狼、狐、野猪ノ類此ニ棲息ス、穀物ノ主要
 ナルヲ小麦及ビ大麥トス、然レドモ其供給未ダ充分ナラ
 ザルヲ以テ、外國ヨリ輸入スルモノ少ナカラズ、煙草ハテ
 サリニ培養ス、葡萄園モ年々擴張スルノ勢アリ、然レドモ

葡萄酒醸造ノ法未ダ精ナラズ、養蠶業ハ盛ナリ、而シテ産
 業ノ最モ緊要ナルハ乾葡萄ノ製及ビ蜂蜜採收ニアリ、家
 畜ニハ馬及ビ羊アリ、礦産モ少ナカラズト雖モ、富盛ノ礦
 山ニ乏シ、鍊鐵セル^ホル^フ島ニ産シ、パ^ロハ大理石ヲ以テ著名
 ナリ、ザ^ント^ニ石油ヲ出ス、海嶺ノ民ハ主ニ漁業及ヒ航海
 ニ従事ス、

(11) 商業ノ中央ヲピレウス^トス、雅典ノ要港タリ、鍊道諸
 所ヨリ、此港ニ達ス、パ^トラ^スハ雅典灣ノ南涯ニアリ、モレ
 ア^ノ乾葡萄ヲ輸出スル所タリ、カ^ラマ^タハコ^ロン^灣頭ニ
 アリ、生糸及ビ無花果ヲ輸出ス、其他ナウ^ウプ^リア、^ヅァ^ロ、^シテ
 等ハ皆貿易上緊要ノ地タリ、

(12) 雅典ハ國ノ首府ニシテ、人口六萬九千餘ヲ有ス、雅典灣ノ北瀕ニアリ、而シテアリロポリス、「パルテノン」ノ舊跡、「ジュピタル、オリムパス」ノ堂宇、「テセウス」ノ巨院ノ如キハ、皆往時ノ隆盛ヲ追想スルニ足ルモノトス、

六 羅馬尼亞國記

(1) 羅馬尼亞ハダニウブ河ノ下流北岸ニ沿セル平地ニシテ、カルパティア山及ビトランシルヴァニア、アルプス山之ガ西北ノ國境ヲ爲シ、東ハプルト河ニ依テ、露西亞ト界ス、其面積五萬百七十方哩、第十六世紀ノ始メ、土耳其人ノ征服セシ所ニシテ、露軍再ビ此地ヲ收メ、土耳其人再度之ヲ占有セリ、於是乎北方ノ強國其勢力ヲ以テ、

地勢

之ヲ補翼シ、今日ニアリテハ、羅馬尼亞國モ亦自國ノ親王ヲ立テ、王ト爲スニ至レリ、千八百六十一年羅馬尼亞土耳其國王ノ許可ヲ得テ、ワラキア及ビモルダヴァノ兩州ヲ合併シテ、一國ト爲シ、千八百七十七年マデ、貢ヲ土耳其朝ニ入レ來リシガ、此時羅馬尼亞土耳其ノ軛ヲ脱シテ獨立國ト成リ、千八百七十八年ノ伯林條約ニ準テ、獨立國タルヲ認定セラレタリ、

(2) 地勢 國內ノ地勢概ネ平坦ニシテ、更ニ樹木ノ眼ヲ遮ルモノナシ、而シテ其北方ニアリテハ、トランシルヴァニア、アルプス高ク天外ニ聳ヘ、蒼々タル森林之ヲ覆壓ス、ダニウブ河口ニハ、ドブジュラト稱スル高原アリ、雜

草繁茂シテ、沼地多シ、之即チ有名ノ古戰場ニシテトラ
ジャン此ニ長城ヲ築テ、北狄ノ侵撃ヲ防ギタリ、

(3) 川河 川河皆ダニウブノ本流ニ合ス、源ヲカルパ
テ、ア山ニ發スルアリ、又或ハトランシルヴァニア、アルプ
スニ湧出ス、ダニウブ支流ノ主要ナルナルプルト、セレト
及ビアルタトス、プルトハ露國トノ境界ヲ爲スモノナ
リ、千八百五十六年ノ巴里條約ニ準據シ、ダニウブ河口
ノ航行ハ萬國聯合委員ノ監督スル所ト成レリ、蓋シ此
委員ハ通港船舶ニ稅ヲ課シ、此稅ヲ以テ、河口浚渫掃除
費ニ充用ス、又曰ク此委員ハ伯林條約ニ依テ、ガラツ以
東ニハ、地方ノ行政府ニ關セズ、獨立シテ職權ヲ執行ス

ル者ト成レリ、但今日ニアリテハ軍艦鐵關下流ヲ航行
スルヲ得ズ、其近傍ノ壘塞モ皆將ニ之ヲ破壊セントス、
(4) 人種 國民ハ主ニ羅馬人ノ後裔及ビダシア土苗
ノ混同セシモノヨリ成ル、其數凡五百四十萬、蓋シ羅馬
尼亞人ハ強剛ニシテ、性活潑ナラザルモ、亦懈怠ニ流レ
ズ、唯貧窶ノ民多クシテ、國民ノ骨髓タルベキハ實ニ二
三千ノ貴族ニ過ギザルナリ、猶太人及ビ「シプス」人亦少
ナカラズ、國民多ク希臘教ヲ奉ズ、然レドモ何教ヲ信ズ
ルモ一ニ國民ノ自由ニ任スル所タリ、

(5) 政体 現行憲法ハ千八百六十六年ノ制定ニ係ル
モノニシテ、之ニ依テ行政權ヲ國王及ビ內閣ニ置キ、立

法權ヲ元老院及ビ國會ニ委ヌ、

行政上ワラキアヲ十八縣モルダヴァアヲ十三縣ニ分チ、各縣ニ知事ヲ置ク、

(6) 物産々業、民專ラ牧畜及ビ耕耨ヲ事トス、穀物ノ

主要ナルハ玉蜀黍、小麥、大麥及ビ燕麥タリ、農民自ラ粗布ヲ製ス、輸入品ハ唯貴族ノ奢侈ニ充ルノミ、

(7) 首府ヲブカレストト云フ、人口二十二萬二千餘、洪牙

利及ビ土耳其ノ貿易此ニ輻湊ス、中央政府及ビ大學此ニアリ、ジャシハモルダヴァノ都市ニシテ、人口九萬、フルト河ヲ去ル十哩、丘陵ノ半腹ニ位ス、ガラツハセレト河ガマニウブ河ニ注グ所ニアリ、人口八萬、マニウブ河委員ノ本局

ヲ置ク所タリ、

羅馬尼亞ノ鐵路ハ千八百六十九年ヲ以テ、始メテ之ヲ布設セシガ、今日ハ線路漸ク延長シ、緊要ノ都市ハ概チ鐵路ヲ以テ連續スルニ至レリ、

第三 斯羅本諸州

波爾汗半島

(1) 波爾汗半島ハ歐洲ノ東南隅ニアリ、十五世紀以來土耳其人ノ占有セシ所タリ、夫土耳其人ハ亞細亞人種ニシテ、宗教及ビ風俗トモ大ニ歐洲人ニ異ナリ、又殖産工業ノ事ニ至リテハ、到底歐洲人ニ伍スルヲ得ズ、以是其人員次第ニ減シ、其勢力日々ニ衰ルノ傾キアリ、於是

廣袤、地勢

平半島モ漸ク土耳其政府ノ軀ヲ脱シ、實際殆ド獨立國タルノ景狀ヲ呈ス、但波爾汗半島ハ之ヲ亞細亞並ニ亞非利加ニ於ケル土耳其領地ニ比スレバ、極メテ細小ニシテ、其人口モ全土耳其領人口ノ七分一ニ過ギズ、
 奧地利及ビ羅馬尼亞ノ南ニ位シ、セーヴ並ニダニウブノ中流及ビ下流ヲ以テ界トシ、南ハ希蠟境ニ達セル大地面積一四七、三六〇方哩ハ政事上他ノ波爾汗半島諸州ト關係ヲ有スルヲ極メテ少シト雖モ、地理上ノ關係ヨリ、暫ク之ヲ波爾汗半島ト共ニ記述シ、後ニ之ヲ別記スベシ、

(2) 廣袤及地勢 此ニ記述スル土地ハ南北四百哩ニ

及ビ東西五百哩ニ達シ、西ニアドリアテイク海並ニイオニアン海ノ諸港ヲ有シ、南ニエギアン及ビマルモラ海ニ臨ミ、東ハ黑海ニ瀕ス、而シテダニウブ河ニ航スレバ、容易ニ内地ニ到ルヲ得、

ダニウブ河ノ南ハ土地次第ニ降起シ、竟ニ半島ノ山溪ニ入ル、此地樹木多ク、雜草繁茂ス、河ノ北岸ハ耕耨盛ニ行ハレ、人口モ亦多シ、ダニウブノ北曲スル所並ニ黑海ノ間高原アリ、「ドブルヤ」ト稱ス、一部ハ雜草之ヲ覆ヒ、一部ハ沼地ニシテ、樹木ナシ、

波爾汗ノ連峰ハダニウブト並行シテ、アイヨンキート鎖關ヲ繞圍シ、黑海岸ノエミチ岬ニ達ス、ロシア、バルン高サ七、八二六呎ヲ其最

高嶺トス、連峯ハ概チ西岸ト並行シ、別レテ數脈ト成リ、希蠟ニ入ル、其間一大牧地アリ、高サ平均二千呎、此地方ニ著名ナル山峯ハドルシトル(高サ八、一四〇呎)コム山(八、〇三〇呎)スカル、ダグ(高サ一〇、〇〇〇呎)及ビグラムモス山等ナリ、波爾汗連峯ノ南側及ビエギアン海ノ間一大嶽アリ、コドボ山ト稱ス、其峯頂別レテ、數頭ト成リ、七千呎ニ達ス、而シテ半島中ノ最高峯ハムス、アラ山ニシテ、高サ九千五百九十呎、松柏鬱蒼トシテ、唯盛夏ノ節ノミ、頂上ニ雪ヲ見ズ、

高嶺ノエギアン海ニ達スル所、有名ナルカルキス半島アリ、靈山ヲ載ス、高サ六千三百五十呎、此半島ニ對シテ、グリ

川河

ボリ半島アリ、ダグダチルス及ビサロス灣間ニ當リ、南ニ向テ突出ス、右兩半島間ニダグ及ビサモトラキノ兩島アリ、尙進テ南ニ至レバ、クレト(又名カンディア)ノ大島ヲ見ル、島ハ長サ百五十哩、中ニイダ山アリ、高サ八千五百呎、

(3) 川河 西方ノ山嶽高地ヨリアドリァテイク海ニ注グ川河ハ、概チ急激ノ細流ニシテ、藉テ以テ水車ヲ轉スルカ、或ハ木材ヲ流下スルノ外用ナシ、マリツァハ源ヲバルカシ連峯及ビコドボ山ノ間ニ發シ、トレス溪ヲ過ギ、コドボ山下ニ曲流シ、竟ニ海ニ朝ス、河口ヨリ百七十流間航行ノ便アリ、之ヲ南方ノ要河トス、而シテ北方ノ要河ハ前已ニ述ベカル如クダニウブ河トス、

(4) 氣候 波爾汗半島ノ氣候ハ全体ヨリ云へバ良好ナリ、然レドモ高原ニアリテハ、東北ノ寒風ヲ受ルヲ以テ、寒氣洵ニ凜々タリ、

北方ノ平原ニハ寒暖ノ差極メテ甚シク、冬嚴冷ニシテ、積雪地ヲ覆フヲ數月、ダニウブ河モ亦氷結ス、陽春四月ニ至ル、五月ハ已ニ熱氣烈シ、六月ハ風雨多ク、河水屢暴漲ス、秋日ハ大氣晴朗ナリ、半島ノ南邊ニ至レバ、氣候溫暖ニシテ橙、橄欖、桑等能ク繁殖ス、アドリアティク海邊ハ冬寒冷ナラズト雖モ、暑氣酷烈ニシテ、殆ド堪ユベカラズマリツア河ノ南方ニハ降雪頗ル稀ナリ、而シテ波爾汗半島中氣候ノ最モ快爽ナルハエギアン海邊ノ地トス、

(5) 人種 波爾汗半島ノ人種ヲ視ルニ、亞細亞人希蠟羅甸人「スラヴン」人「セマイト」人等氷炭相反スルモノ互ニ集合ス、故ニ其言語ニ至リテモ、亦大ニ異ナル所アリ、人口凡ソ一千万、土耳其人其五分一ヲ占ム、蓋シ土耳其人ハエギアン海邊、ロドーブ高原、アドリアノプル近傍、黒海ノ海岸等ニ多ク住居ス、

クリミア戦争後ハ韃靼人多ク黒海岸ニ移住シテ、居チ占メタリ、希蠟人ハ其數百二十餘萬、エギアン海邊ヨリコンスタンティノプルニ蔓延ス、此地ニ緊要ノ人民タリ、中央ノ高原ニハ「アルバニア」人アリ、其數百廿五萬餘、希蠟羅甸兩人種ノ後裔タリ、ダニウブ河ノ以南バルカンノ山村ニハ

「ブルガリア」人アリ、原來蒙古人種ニシテ、七世紀ノ頃此地ニ移住シ、漸ク「スラヴオン」人ト合シテ、其言語風俗ヲ學ビ、今日ハ其數二百五十萬ニ達ス、前陳諸人種ノ外、純然タル「スラヴオン」人アリ、即チ此地ノ土苗ニシテ、別レテ「セルヴニア」人「ヘルツェゴヴニア」人「クロート」人「モンテネグリ」人等ト爲ル、其數二百萬ニ下ラズ、尙他ニ「シルカシア」人「アルメニア」人「シアシ」人猶太人等アレドモ、其數少ニシテ、別ニ記スルニ足ラズ、

(6) 宗教、波爾汗半島ノ人民ヲ宗教上ヨリ區別スレバ、分レテ回々教徒及ビ基督教徒ト成ル、回々教ハ土耳其人並ニ「ブルガリア」人「アルバニア」人「セルヴニア」人等多

ク之ヲ信ズ、基督教ニ兩派アリ、一ハ希蠟教ヲ信ジ、一ハ羅馬教ヲ奉ズ、

今日ニアリテハ土耳其國ノ人民ニシテ、基督教ヲ奉スルモノ少ナカラズト雖モ、非回々徒ノ壓抑ヲ被リ、慘酷ノ處致チ受ケタルヤ茲ニ年アリ、於是テ歐洲大國ノ基督教ヲ奉ズル政府ハ屢、土耳其政府ニ迫リ、其教徒ノ救助ニ盡力セリ、故ニ今ハ其徒大ニ自由ヲ得タリトス、之ヲ昔日ニ徵スルニ基督信者ハ官吏タルヲ得ズ、損害ノ倍償ヲ請求スルヲ得ズ、又土地ヲ所有スルヲ得ザリキ、而シテ基督教信者ノ農民ノ如キハ收穫三分ノ一ヲ地主ニ拂フベキ義務アリシヲ以テ、政府ニ抵抗シテ、此惡弊ヲ絶ントスルノ念

分割

常ニ止ズ、此時ニ當リ、露國義兵ヲ舉テ、同教ノ民ヲ救フ
 ナ謀レリ、然レドモ英國政界上ヨリ之ヲ障ケタリ、之節ヲ
 「クリミア」戦争ノ起リシ所以ナリ、「クリミア」戦争ノ終ルヤ、
 土耳其政府ハ大ニ内政ヲ改良スルノ目的ヲ以テ、其案ヲ
 歐洲ノ大國ニ示シ、歐洲大國モ亦之ヲ賛成セリ、然ルニ其
 議竟ニ行ハレズ、故ニ千八百七十六年歐洲大國ハ委員ヲ
 設ケテ、土政府ヲ改革セント計レリ、而シテ土政此議ヲ容
 レザリシヲ以テ、翌年露土戦端ヲ開キ、露兵土耳其ノ東領
 ナ蹂躪セリ、其後歐洲ノ大國伯林府ニ會合シ、大ニ波爾汗
 半島ノ状景ヲ變更スルニ至レリ、

(7) 分割、千八百七十八年以前ニアリテハ、波爾汗半

島概ネ土耳其ニ屬セリ、然ルニ千八百七十八年ノ伯林
 條約ニ準據シ、半島ノ分割並ニ政事上ノ關係大ニ面目
 ナ改メ、土耳其ハ其領地ノ過半ヲ失ヒ、以前進貢國タリ
 シモノモ更ニ獨立國タルニ至レリ、

此時ローマニアノ獨立ヲ承認シ、ダニウブ河南ニ更ニブ
 ルガリアナル新國ヲ建設セリ、蓋シブルガリアハダニウ
 ブ河ヨリバルカン山頂ニ亘ルモノニシテ、其領主ハ人民
 之ヲ撰舉シ、土帝歐洲大國ノ賛成ヲ得テ、之ヲ承認スルモ
 ノトス、

バルカン山ノ南ニ亦東ルメリアナル國ヲ新設セリ、此
 國ハバルカン及ビロドープノ兩山間ニアリ、東ハ黒海ニ

達シ、マリツア河領ノ上部ヲ占ム、又曰ク東ルーメリアハ土
 帝カ歐洲大國ノ贊成ヲ得テ、撰任スル所ノ基督教信者ノ
 支配スルモノトス、セルヴアハ之ヲ獨立國ト爲シ、其版圖
 ナ擴メテ、モラヴァ河領ノ上部ニ至ラシメタリ、モンテチ
 グロモ亦之ヲ獨立國ト爲シ、且大ニ其領地ヲ擴メタリ、ア
 ドリアテイク沿岸ノスピツアハ、壤地利國ニ讓與シ、テサリ並
 ニエピルスノ一部ハ希蠟ニ分與セリ、故ニ土耳其ノ今日
 直轄スルハアルバニア及ビルミリアノ兩州タルニ過ギ
 ズトス、

一 世爾維亞國記

(8) 世爾維亞ハ一小山國ニシテ、バルカン及ビイリア

兩山間ニアリ、モラヴァ川茲ニ北流ス、蓋シ世爾維亞ハ
 十四世紀中一大王國タリシト雖モ、土軍ノ爲メニ蹂躪
 セラレ、今日ニアリテハ、其面積僅カニ一萬九千方哩ナ
 リ、千八百廿九年自治ノ權ヲ恢復セシガ、尙舊ニ依リ貢
 ナ土朝ニ贈レリ、而シテ其純然タル獨立ヲ得シハ、實ニ
 千八百七十七年トス、

(9) 現今ノ國主ハ曩ニ土耳其軍ヲ破リ、國ノ獨立ヲ恢
 復セシ謀主ノ後裔タリ、憲法ニ據リ、行政權ヲ君主並ニ
 內閣ニ委ネ、立法權ハ國會並ニ元老院ニ於テ之ヲ掌握
 ス、

(10) 國內概チ山村ニシテ、森林牧野ニ富ム、山村ノ民ハ懶

情ニシテ、農ヲ勤メズ、然レドモ多ク豕ヲ飼養シテ、之ヲ洪
牙利ノ市場ニ輸出ス、鑛産ニハ金、銅及ビ亞鉛アリ、石炭ハ
メニウブ沿岸ニ産ス、首府ヲベルグラドト云フ、人口二萬
八千、南北兩國ノ通過貿易上ニ緊要ノ位置ヲ占ム、

二 門的捏具路國記

(11) 門的捏具路ハ又黑山國ト稱ス、世爾維亞ノ西南ニ
位シ、アドリアテイク海ニ瀕ス、南北凡百哩ニシテ、東西九
十哩ニ過ギズ、波爾汗半島ノ諸州中土耳其政府ノ軛ヲ
脱セシハ門的捏具路ヲ以テ嚆矢トス、

(12) 現今ノ君主ハ十七紀中土政府ノ軛ヲ轉覆セシ法王
ノ子孫ナリ、人口凡十八萬、別レテ四十族ト成ル、皆兵タル

ノ練磨ヲ受ク、憲法ハ千八百六十八年ニ修正シ、之ニ據リ
テ行政權ヲ國王ニ委ネ、立法權ヲ元老院ニ置ケリ、

三 保斯尼亞及邊爾坼吳維尼亞國記

(13) 波爾汗半島ノ西北ニ一山國アリ、羅馬帝國盛隆ノ
時ニ當リテ之ヲイリリアノ一部トセシガ該帝國ノ分
烈スルヤ、此國モ亦屢其所屬ヲ異ニセリ、七世紀以前此
地方ノ一部ニシテ、保斯尼亞ト稱スルモノ自國王ノ支
配スル所ト成リ、國王ハ貢ヲ洪牙利ノ朝ニ贈リタリ、千
五百廿二年土軍之ヲオトマン帝國ニ附シ、十六世紀ノ
終ニ際シ、士兵復タクローティアノ南部ヲ蠶食セリ、而シ
テ保斯尼亞ノ南隣タル邊爾坼吳維亞モ亦竟ニ土耳其

人ノ陷ル所ト成リタリ、土朝ガ保斯尼亞ヲ收ムルヤ世襲君主ノ權ヲ剝ギ、且其收入ヲ掠奪セシヲ以テ、國內常ニ靜謐ナラズ、動モスレバ騷亂起ルノ憂アルヲ絶ヘザリキ、以之千八百七十八年ノ伯林會議ハ奧地利ノ兵ヲ以テ、保斯尼亞並ニ邊爾坼吳維尼亞ヲ占有セシメ、其治政ヲ永久奧地利政府ニ委ヌルニ決シタリ、

- (14) 國內山林ニ富ミ、溪流ニ水溶々タリ、多ク穀物並ニ果實ヲ産ス、亦野禽魚鼈ニ富ミ、其羊、山羊、豕、蜂蜜ノ如キハ歐洲ニ著名ナリ、鑛産乏シカラズ、然レドモ充分ニ之ヲ開抗スルモノ少ナシ、國民ハ主ニ「スラヴォン」人種ヲ以テ成ル、
- (15) 都市ノ最モ盛大ナルヲセラエボスナト云フ、人口凡

二萬千、商業ノ中央タリ、サラエヴォノ西北ニトラウニツクアリ、緊要ノ壘柵トス、邊爾坼吳維尼亞ノ首府ヲモスタルト云フ、ナレンタ川ニ臨ミ位ス、其橋梁此地ニ壯觀美麗ヲ以テ著名ナリ、

歐洲土耳其

四 貌爾牙利亞及東羅字墨利亞國記

(1) 伯林條約ニ據リ、貌爾牙利亞並ニ東羅字墨利亞ノ兩大國ハ上帝ノ直轄ヲ免レ、貢進國ト成リ、自治權ヲ享有スルニ至レリ、貌爾牙利亞ハバルカン山ノ北麓ヨリダニウブ河岸ニ達シ、東羅字墨利亞ハ其南腹ヨリマリツ、河領ニ跨ル、

(2) 貌爾牙利亞ハ土地豐饒ニシテ、農業盛カンニ行ハル、玉蜀黍並ニ小麥ヲ産シ、ヴァルナ港ニ依テ之ヲ輸出ス、多ク水牛ヲ使用シテ農事ヲ助ク、國民原「フン」族ニ屬スト雖モ、今日ノ風俗言語ハ全ク「スラヴオン」人ノ風俗言語ニ等シ、

(3) 貌爾牙利亞ニ緊要ノ都市ヲ舉グレバ、ダニウブ川岸ニウイディンアリ、商業盛ナリ、イシケル河邊ニソフアリ、前日土耳其領ノ首府タリキ、オスマ河口ニニコポリスアリ、其西南ハプレウナアリ、千八百七十七年ノ激戦ヲ以テ著名ナリ、其南ニティルノヴァアリ、又ダニウブ沿岸ノルスチユクハ貿易並ニ製造上重要ノ位地ニ居リ、ヴァルナハ黒海ニ緊要ノ港トス、而シテ貌爾牙利亞ノ鐵道ハ未ダルスチユク及

ビヅアルナ間ニ布設セルモノニ限ルナリ、

(4) 新設ブルグリア州ノ憲法ハ貴族ティルノヴァニ集會シテ、議定セシモノナリ、又新政府ハ土朝ニ貢ヲ納メ、且ツ該帝國ノ國債ヲ分擔ス、然レドモ其政府ハ基督教政府ニシテ、亦自國ノ護國兵ヲ有ス、

(5) 東羅字墨利亞ハスリヴノ並ニフキポリスノ兩州ヲ合併シ、之ニアドリアノブルノ一部ヲ加ヘテ建設セシモノニシテ、マリツノ上流ヨリ東ニ廣ガリ、黒海ノ岸ニ達ス、ロドプノ原野ヲ除クノ外、綠樹鬱蒼トシテ、風景良ニ佳ナリ、又バルカン山ノ北側ハ薔薇香蒸製ヲ以テ著名ナリ、

(6) 國民ハ主ニ「ブルガリア」人ヲ以テ成ル、顯著ノ都市ヲ

舉グレバマリツア上流ニフナリボリスアリ、歴山大王ノ父ノ
 創建セシモノナリ、バルカン山麓ニケザンリク並ニスリ
 ヲゾノアリ、共ニ工業及ビ貿易ノ中心タリ、而シテブルガス
 ハ新設國ノ主要ノ海港トス、
 (7) 東羅宇墨利亞ハ今日自治國ト成レリ、其君主ハ基督
 教徒ニシテ、土耳其政府ガ歐洲大國ノ贊成ヲ得テ撰任ス
 ルモノトス、自國ノ護衛兵アリ、然レドモ土耳其政府險要
 ノ地ヲ占有スルノ權ヲ保有ス、

五 土耳其本領記

(1) 門的捏具路、世爾維亞及ビ東羅宇墨利亞ノ境界ヨ
 リ、南エギアン海ニ達シ、東黒海並ニマルモラ海ヨリ、西

政 体 記

分 劃 記 國 領 本 其 耳 土 門 事 記 (一八)

オトラント海峽ニ至ルノ間ハ土朝ガ直接ニ支配セル
 波爾汗半島ノ部分タリ、

(2) 政 体、 此地方ノ君主ハ即チ土帝ニシテ專ラ擅政ヲ
 行ヒ、「コラン」(回々教ノ經書)ニ違ハザレバ欲スル所トシテ、
 施シ得ザルハナシ、蓋シ此地方ニハ土帝太守ヲ置テ之ヲ
 治ム、太守ハ宗教外政務ノ總裁ニシテ、亦土朝樞密院ノ長
 タリ、寺院ノ長ヲムフテ、ト云フ、其職「コラン」ノ意義ヲ明ニ
 スルニアリ、

(3) 分 劃、 土耳其全帝國ヲ數縣ニ分チ、亦縣ヲ數州ニ
 區劃ス、歐洲大陸ニ土耳其ノ八縣アリ又クレント島ニ一
 縣ヲ置ク、

(4)

物産産業

土耳其ハ豊饒ノ邦土ニシテ、天然ノ富

殆ド無盡藏ノ如シ、然レドモ民懶惰ニシテ、資本乏シク、且道路粗悪ナルヲ以テ、富源更ニ開發セラレズ、

全土ノ過半皆耕耨ニ適スト雖モ、僅カニ一小部ヲ耕シテ、自國四民ノ必用ニ供スルノミ、然レドモ土地ノ膏腴ナル實ニ尋常ナラザルヲ以テ、懶惰ノ農モ尙餘利ヲ生シ、穀物ヲ國外ニ輸出ス、橄欖樹ハ沿海ノ地ニ培養シ、橄欖油ハ専ラクレト島ニ製ス、綿花亦同島ノ産物タリ、森林ニハ有要ノ木材多ク、熊狼其間ニ出沒ス、民多ク牛馬ヲ飼養ス、羊毛ノ産モ亦少ナカラズ、鐵、銅、鉛及ヒ岩鹽等産セザルニ非ズト雖モ、之ヲ採坑スルモノ殆ドナシトス、

(7)

(5)

土耳其ノ工業ハ緊要ノモノタラザルモ、亦皆無ニ非ズ、即チ羊毛ヲ製シテ、粗布ヲ織ルハ各村ノ皆勤ムル所ニシテ、土耳其絨氈ノ如キハ已ニ世ニ顯着ナリ、又自國産ノ麻ヲ以テ、船綱ヲ製ス、絹布ノ製織ハコンスタンティノブルニ盛ニシテ、小銃並ニ大砲ハボスボラス近傍ニ鑄造ス、加之ナラズ歐洲ニ於ケル鞍司、劔鍛冶、理髮者ノ如キハ土耳其人ノ專有スル所ト云フモ可ナリ、

(6)

道路ハ極メテ粗悪ナリ、故ニ多ク馬背ヲ藉リテ貨物ヲ運送ス、然ルニ千八百六十五年ヲ以テ鐵道ノ布設ヲ始メシヨリ、今ハ其長サ殆ト一千哩ニ達ス、

首府ヲコンスタンティノブルト云フ、人口凡六十萬

昔ハ此府ヲビサントイフムト稱セシガ、コンスタンティン帝此ニ都ヲ定メシニ由リ、今日ノ名ヲ來セリ、夫コンスタンティノブルノ位置タルヤ、歐亞兩洲ノ海岸ヲ眼下ニ眺メ、又兩海ノ咽喉ヲ占ルヲ以テ、自然貿易ノ繁昌ヲ來スナリ、故ニ其名東歐洲ニ高シ、

サロニカハエギアン海ニアリ、コンスタンティノブルニ次グ大市ニシテ、穀物、羊毛、絹糸及ビ烟草ハ多ク此港ヨリ輸出ス、アドリアノブルハトレス河領ノ商業中心ナリ、プリスレン山下ノプリスレン府ハ歐洲土耳其ニ最モ繁昌ヲ極ム、

(8) シレット島ハ面積三千三百二十方哩、島中山峯伏起シ

テ、氣候清快ナリ、橄欖及ビ葡萄ヲ産ス、主市ヲカンディアト稱ス、北岸ニアリ、壘ヲ築テ之ヲ守ル、西岸ノカニアハ島中ノ最良港タリ、

六 歐洲露西亞國記

(1) 「スラヴン」人ガ日耳曼帝國ノ版圖内ニ住シ、壤地利洪牙利王國ニ多數ヲ占メ、土耳其ノ臣民ト成リテ、波爾汗半島ノ西北ニ居リ、又世爾維亞並ニ門的捏具路等ノ獨立國ヲ建ルハ前已ニ詳述セシ所ナリ、然レドモ此民族ニシテ、能ク歐洲ニ大國ヲ爲シ、復タ他ノ人種ヲ支配スルハ獨リ露西亞ニ於テ之ヲ見ルノミ、

(2) 廣袤地勢 歐洲露西亞ノ廣袤ハ他歐洲諸州ノ版

圖ヲ合併セシモノヨリ尙大ナリ、亦以テ其領地ノ廣大ナルヲ知ルベシ、即チ其面積凡二百萬方哩ニシテ、之ヲ英國ノ面積ニ比スレバ、超過スルヲ四十倍トス、

北洋岸ヨリ南黒海ニ到ルノ間、其距離凡千七百哩、又西ハルティク海邊ヨリ東ウラル山下ニ達スルニ、里程千四百哩アリ、歐洲露西亞ノ平原如斯ク大ナリト雖モ、之ヲ露帝國全體ノ版圖ニ比スレバ、少シク其四分一ニ超過スルノミ、

(2) 露西亞平原ノ氣候並ニ地勢ハ歐洲總論ノ部ニ於テ、已ニ之ヲ記述セリト雖モ、今再ビ其大勢ヲ述ベンニ、此平原ハ一般ニ低地ニシテ、南ニカウカサスノ連峯アリ、東ニウラル山ヲ構ユ、而シテ平原中千尺以上ニ達スルノ地ハ

ウラルガ水源ノワルダイ丘アルノミ、又地形ニ由テ平原ヲ割別スレバ、北洋沿岸ニ氷凍荒芒ノ「トランド」アリ、其南ニフキランドノ确地並ニ高原ノ湖幾多ヲ載スルモノアリ、中央ハ森林及ビ耕地ニシテ多ク穀物ヲ産シ、之ヲ諸國ニ輸出ス、而シテ尙南ニ到レバ、裏海ノ北岸ヨリ羅馬尼亞地方ニ亘延セル赭地ノ原野アリ、之ヲ「ステッペス」ト稱ス、廣原中亦大河多シ、故ニ内地ノ運漕ニ至リテハ、極メテ便宜ナリト雖モ、其四方ノ海洋即チ北洋、バルティク海、黒海、裏海等ノ如キハ嚴寒ノ節皆堅氷ノ封鎖スル所タルヲ以テ、露西亞ノ商業之ガ爲メニ損害ヲ受ルヲ蓋シ小少ニ非ザルナリ、

(4) 國民 露西亞ハ廣袤極メテ大ナリト雖モ、人口頗ル稀薄ニシテ、其數七千四百餘萬ニ過ギズ、即チ一方哩ニ凡三十六人トス、故ニ我國一方哩ノ人口ハ凡露國一方哩ノ人口ニ十倍ス、國民五分ノ四ハ「スラヴァン」人種ヲ以テ成ル、

露西亞ノ「スラヴァン」人ハ分レテ三大群ヲ成ス、第一ハ國ノ中央並ニ北部ニ居ルモノニシテ、大露西亞人ト稱シ、其數凡三千四百五十萬、第二ハ小露西亞人ト稱シ、西南部ニ居ル、其數凡千四百萬、ドニ河下流近傍ノ「コサック」人ハ即チ之ニ屬ス、第三ハ白露西亞人ト稱ズ、西郡ニ多シ、其數凡九百五十萬、其他「ヴァストラ」河邊ニハ「ポーランド」人多ク、羅馬尼

亞國境ニハ「ブルガリア」人國民ノ一小部ヲ占ム、「スラヴァン」人ニ類似セル「リトヴァ」人アリ、綠眼ニシテ、麗色ナリ、又其近族タル「レット」人並ニ「シムムッド」等ハ「フアン」人ノ血統ヲ交ユルモノニシテ、其數二百五十餘萬ナリ、
露西亞國中ニ土耳其人亦少ナカラズ、即チ「カザン」並ニ「リミア」ノ韃靼人及ビ裏海近傍ノ「キルギツ」人ハ此種ニ屬ス、南ウケラル山ノ「バシキル」人、「チニヴァシ」人等ハ韃靼人ノ「フアン」人ト混シタルモノニシテ、「カルムク」人ハ純然タル蒙古人種ナリ、蓋シ「カルムク」人ハ黑髮黑瞳ニシテ、丈短ク、肩幅廣シ、北洋沿岸ノ原野ニハ矮小ノ「サモイド」人アリ、原來亞細亞人種ニ屬ス、獸獵並ニ馴鹿ノ飼養ヲ以テ生活ノ路トス、

猶太人ハポロランド並ニ西南地方ニ多ク、又其他ノ外國人ハ獨乙人並ニ瑞西人ヲ以テ多數ヲ占ムルモノトス、

(5) 宗教、國民多ク露西亞希蠟教ヲ奉ズ、蓋シ此宗派ハ法王ニ最上權アルヲ承認セズ、僧侶ノ獨身ニシテ存スルヲ禁ジ、國語ヲ以テ聖經ヲ研究スルヲ許ス、故ニ其教趣大ニ羅馬教ト異ナリ、

皇帝ハ國教ノ守護者ニシテ、又長老會ノ審判者タリ、露西亞希蠟教徒ニシテ、其宗旨ニ背クモノハ周身寺院ニ閉幽セラルベシ、露西亞希蠟教ノ外尙數派ノ宗旨アリ、即チポロランドニハ羅馬加特力教徒多ク、猶太教徒ハポロランド並ニ西南部ニ蔓延シ、布勒的斯丹德教ハ日耳曼國境ノ

民主ニ之ヲ奉シ、又亞細亞人種ニシテ、黃教或ハ「ラマ」教ヲ信ズルモノ少シトセズ、

(6) 教育、十六世紀ノ終ヨリ、千八百六十一年ニ至ルマデ、露西亞國民ハ過半奴隸ニシテ、或ハ王家ニ屬シ、或ハ一個人ニ養ハレシガ千八百六十三年ヲ以テ奴隸ノ制ヲ廢シタリ、然リト雖モ世態已ニ如斯クナリシヲ以テ、教育ノ進歩セザリシモ亦怪ムニ足ラズ、但近年ニ至リテハ、大ニ其面目ヲ改メタリ、故ニ千八百六十年ノ徵兵中讀書シ得ルモノ百人中二人ニ過ギザリシモ、千八百七十年ノ徵兵ニハ已ニ十一人ノ讀書シ得ルモノヲ得タリ、亦以テ教育進歩ノ一端ヲ窺フベシ、

フ#ンランドハ露西亞帝國中ニ教育最モ進歩セル所ニシテ、其方法自ラ他州ト異ナリ、又帝國ヲ幾多ノ學區ニ分ツ、即チハルテイク州ニハ蒙斯哥、ドルバト、及ビ聖彼德堡ノ學區アリ、西露西亞ニハヴ#ルナ並ニワルサウノ學區アリ、西南ニハキীগ、カルコフ及ビオデサノ學區アリ、東ニハカザン學區アリ、而シテ政府ガ教育ニ使用スルノ金額ハ實ニ巨大ノモノトス、

(7) 露西亞語ハ彼德大帝ノ時、始メテ成文語ト成レリ、此時大露西亞ノ郷語大ニ勢力ヲ得テ、「スラヴオン」古語ト全ク分離セリ、蓋シ大露西亞ノ郷語ハ言語ニ富ムモノニシテ、其純然タルハ蒙斯哥近傍ニ使用スル言語是ナリ、「ポーラ

政體

ンド」語ハ簡明ニシテ、音調美ナリ、「フ#ンランド」語ハ韃靼語ニ切類シ、文獻ニ富ム、露西亞政府ノ大ニ使用ヲ獎勵スル所タリ、

(8) 政體 政體ハ君主擅制ニシテ、帝位ハ世襲タリ治政ヲ四大省ニ委ネ、內閣之ヲ總括ス、

第一省ハ立法、行政並ニ財政ヲ司リ、第二省ハ帝國ノ高等法院タリ、第三省ハ專ラ宗教ノ事ヲ掌リ、第四ハ外交、海陸軍、內務、土木等ノ事務ニ執掌ス、フ#ンランド大公國ハ半獨立國ニシテ、貴族衆民ノ兩議員ヲ以テ成ル元老院之ヲ治ム、ポーランドノ政府ハ千八百六十八年ヲ以テ露國政府ニ合併セリ、

蒙斯哥ハ人口六十萬二千餘ニシテ、市街ノ模様總テ古風ナリ、聖彼德堡ハ人口六十六萬八千人ヲ有ス、現今ノ帝都ニシテ、王宮公廳其他壯觀ノ家屋皆此ニ輻湊ス、之ヲ譬フルニ蒙斯哥ハ國ノ心臟ニシテ、聖彼德堡ハ國ノ耳目タリ、故ニ外國風ノ露西亞ニ入ルモノハ皆聖彼德堡ヨリス、

(9) 劃分 行政ノ便宜ヲ計リ、全帝國ヲ幾多ノ省、縣及ビ州ニ分割ス、然レドモ普通世人ノ聞知セル分割ハ左ノ如シ、

大露西亞 中央及ビ北方ノ地ヲ含有ス、主要ノ都市ハ蒙斯哥及ビトウラ、

小露西亞 西南地方ヲ含有ス、市要ノ都市ハキエフ、

東露西亞 主要ノ都市ハアストラカン、カザン、サマラ、サラトフ、

南露西亞 黒海沿岸ヲ含有ス、主要ノ都市ハオデサ、ニコラエフ、キセネフ、

西露西亞 ヴォルヒニア、ポロディア其他舊ポーランド王國ノ部分ヲ含有ス、主要ノ都市ハヴルナ、

バルティク沿岸州 フォンランド並ニリガ沿岸ノ地ヲ含有ス、主要ノ都市ハ聖彼德堡、レヴェル、リグ、

フィンランド大公國 西北ニ位シ、斯漢地那比亞ニ隣ス、主要ノ都市ハウボルグ、ヘルシングフォルス、アボ、

ポーランド 西方ニアリ、日耳曼ニ界ス、主要ノ都市ハワ

ルサウ、

(10) 物産、産業、北洋沿岸ノ荒地、フンランド並ニ西南ノ鹹地ヲ除クノ外ハ、一般ニ穀物ヲ耕作ス、

北方ニハ大麥、燕麥及ビ亞麻等ヲ以テ緊要ノ物産トシ、南方及ビ中央ニハ小麥、葡萄、亞麻並ニ烟草ヲ産ス、中央州ノ南部即チオカ河ノ上流ヨリ、ドニバル河ニ至ルノ間ハ露國ノ穀廩ニシテ、露國ノ麥類三分一ハ此地ヨリ出ヅ、森林ハ全面積ノ十分四ヲ覆歴ス、其樹木ノ種類北方ニハ樅、樺等アリ、中央並ニ南部ニハ檜、楡ノ類多シ、木材ハニールメン及ビウイストッラノ兩川ニ依テ、之ヲバルテイク海ニ出シ、白海ニ依テ、之ヲアルカンゲルニ致ス、之即チ歐洲西部諸國ノ需

(11)

工業、露西亞國民ハ七割以上農業ニ從事ス、故ニ

用ニ供給スルモノニシテ、其量極メテ巨大ナリ、南方ノステペスハ露國ノ大牧場ニシテ、此ニ牧養スル羊ノ數四千萬、牛馬二千萬頭ニ下ラズ、家ハ各地ニ飼養スル所タリ、馴鹿ハ北地ニ多ク、南方ノ韃靼人ハ駱駝ヲ使用ス、熊、狼、狐、鹿等ヲ獵獲シテ生活ヲ營ムモノ亦少ナカラズ、裏海、アツウ海、黒海並ニ其他ノ大川ニアリテハ漁業盛ナリ、露西亞中鐵産ニ富饒ナルハウナル山地方ニシテ、白金、黄金、銀、銅、鋳、鉛等皆此地ニ出ヅ、石炭ハドネツ並ニウイストッラノ兩河溪及ビウラル山地方ニ採掘ス、又裏海近傍ノ低地ニハ鹹ヲ産スルヲ夥シ、

其工業ノ微々タルハ推知スルニ足レリ、而シテ職工ハ多ク農夫ニシテ、冬期農事ノ間ヲ得テ、工業ニ從事スルヲ常例トス、

工場ハ聖彼德堡並ニ蒙斯哥近傍ニ多シ、專ラ綿布及ビ絹布ノ製織ニ從事ス、亞麻紡績及ビ粗麻布ノ製造ハ緊要ノ工業ニシテ、獨リ海港ニ盛ナルノミナラズ、内地ニモ製造場所々ニ散在ス、而シテ其最モ多ク製出スルモノハ帆布及ビ船繩トス、製鍊業ノ最モ緊要ナルハウラル山下ペルムノ製鍊業ニシテ、政府ノ造兵廠ハオネガ湖西岸ノペトロザヴオドエキニアリ、

(12) 貿易、歐洲西部ノ諸國へハ露國未製品ヲ輸出シ

貿易

テ、該地方ヨリ製造品ヲ輸入ス、而シテ亞細亞ニ對スル貿易上ノ關係ハ全ク前者ニ反對ス、内地ノ大川ハ夏期貨物ヲ海港ニ廻漕スルノ便ヲ與フ、而シテ冬日ハ海港皆堅氷ノ封鎖スル所ト成ル、然レドモ積雪ノ地ヲ覆フヤ、橋ヲ遣ルニ極メテ便ナルヲ以テ、冬間内地ノ物品運輸ハ頗ル頻繁ナリ、

帝國ノ道路ハ修繕宜キヲ得テ、大ニ見ルベキ所アリ、鐵道ハ千八百三十八年始メテ聖彼德堡近傍ニ設布セシヨリ、次第ニ延長シ、今日ニ至リテハ其長サ一萬六千餘哩ニ及ビ、諸州ニ跨達ス、歐洲諸國トノ貿易ハ主ニバルティク海ノ諸港即チ聖彼德堡、シロンスタッド、リガ(人口一〇三、〇〇〇)

レヴェル、黒海ノ諸港即チオデサ(人口一八五、〇〇〇)タガン
 ログ(ドン河通商ノ咽喉)ロストフ、ベルディアンスク、及び白
 海嶺ノアルカンゲルニ依ル、然レドモ亦鐵道ヲ藉リ、日耳
 曼、埃地利等ヲ經テ、貿易スルモノ少シトセズ、シベリアニ
 到ルニハ蒙斯哥ヨリ、ウオルガ河岸ノカザンチ過ギ、ウラル
 山中ノエカテリンブルグニ出ヅ、又サマラ、サラトフチ經
 テオレンブルグニ出ツレバ、南亞細亞ニ連ナル大道アリ、
 比耳西亞トノ貿易ハアストラカン及び裏海ニ據テ、之ヲ
 營ム、

(13) 内國ニハ年々貿易ノ爲メ大市ヲ開クヲ例トス、此
 時衆民四方ヨリ蟻集シテ、諸品ヲ賣買交換ス、

年市ノ最モ盛大ナルハ毎年六月十五日ヨリ八月十五日
 迄、ウオルガ、オカ西川ノ交接地ニ位セルニシニ、ノウゴロド
 ニ開クモノニシテ、此時比耳西亞、印度、支那等ノ商人凡二
 十萬此地ニ來集シ、茶、生糸、獸皮、毛布等ノ諸品ヲ交換ス、ウ
 ラル山東ノイルビットノ年市ハ二月ヨリ三月ニ涉リ、之ヲ
 開キ、主ニシベリア物産ノ貿易ヲ爲ス、ウクレインノカ
 コフニハ羊毛並ニ馬匹ノ市アリ、此時糧ノ輻湊スルヲハ
 萬ニ過グト云フ、

(14) 歐洲露西亞ニ第一等兵營十九アリ、其最要ノ軍庫ヲ
 聖彼德堡ノ軍庫トス、ニコラエフハ黒海岸ニ於ケル堅硬
 ノ軍港ニシテ、ハグ河口ニアリ、セヴァストポルハ前日黒海

ニ於ケル露國緊要ノ軍港タリシガ、千八百五十五年英佛ノ兩兵之ヲ破壊シ、其後巴里ノ條約ニ據リ再ビ此ニ軍港ヲ築クヲ禁シタリ、

中等教育 如氏地理教科書第三帙第二卷下 終

明治二十二年六月十五日印刷
全 年七月十一日出版
全 二十二年十月一日印刷
全 二十二年十月九日出版
全 二十三年六月廿三日印刷
全 年七月七日訂正再版

三帙第二卷

三帙第二卷下

正價金五拾錢

理講學述士者

東京府平民

富士谷孝雄

三牛込區東五軒町

發行者

東京府平民

内田芳兵

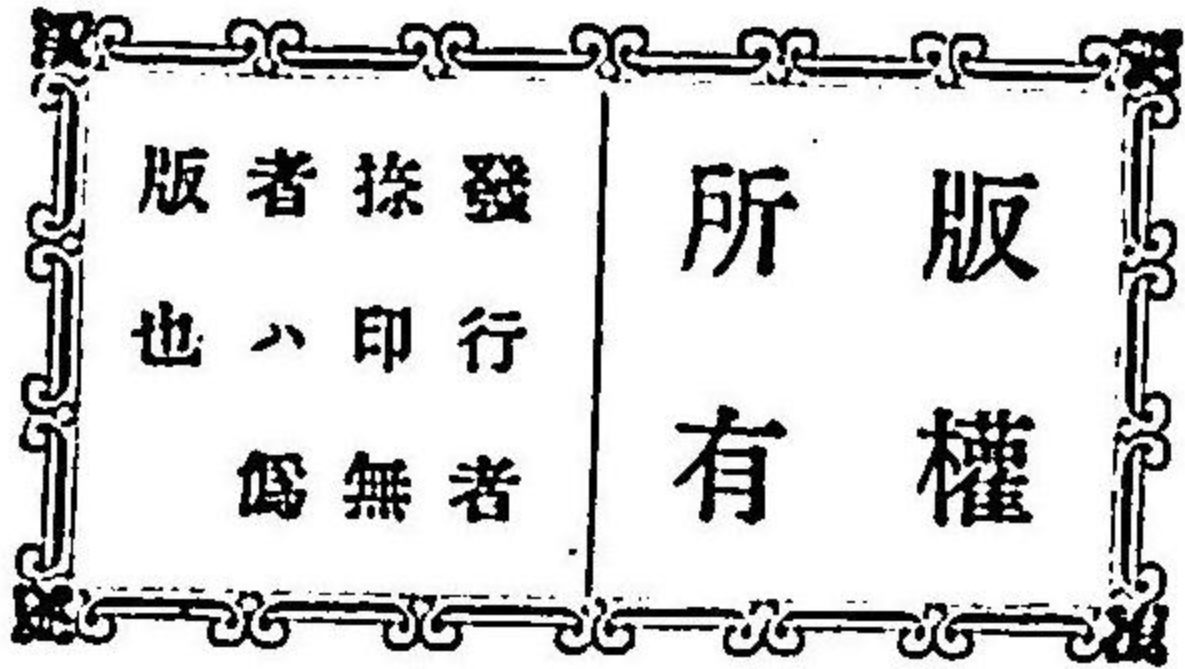
日本橋區大傳馬町
貳丁目十六番地

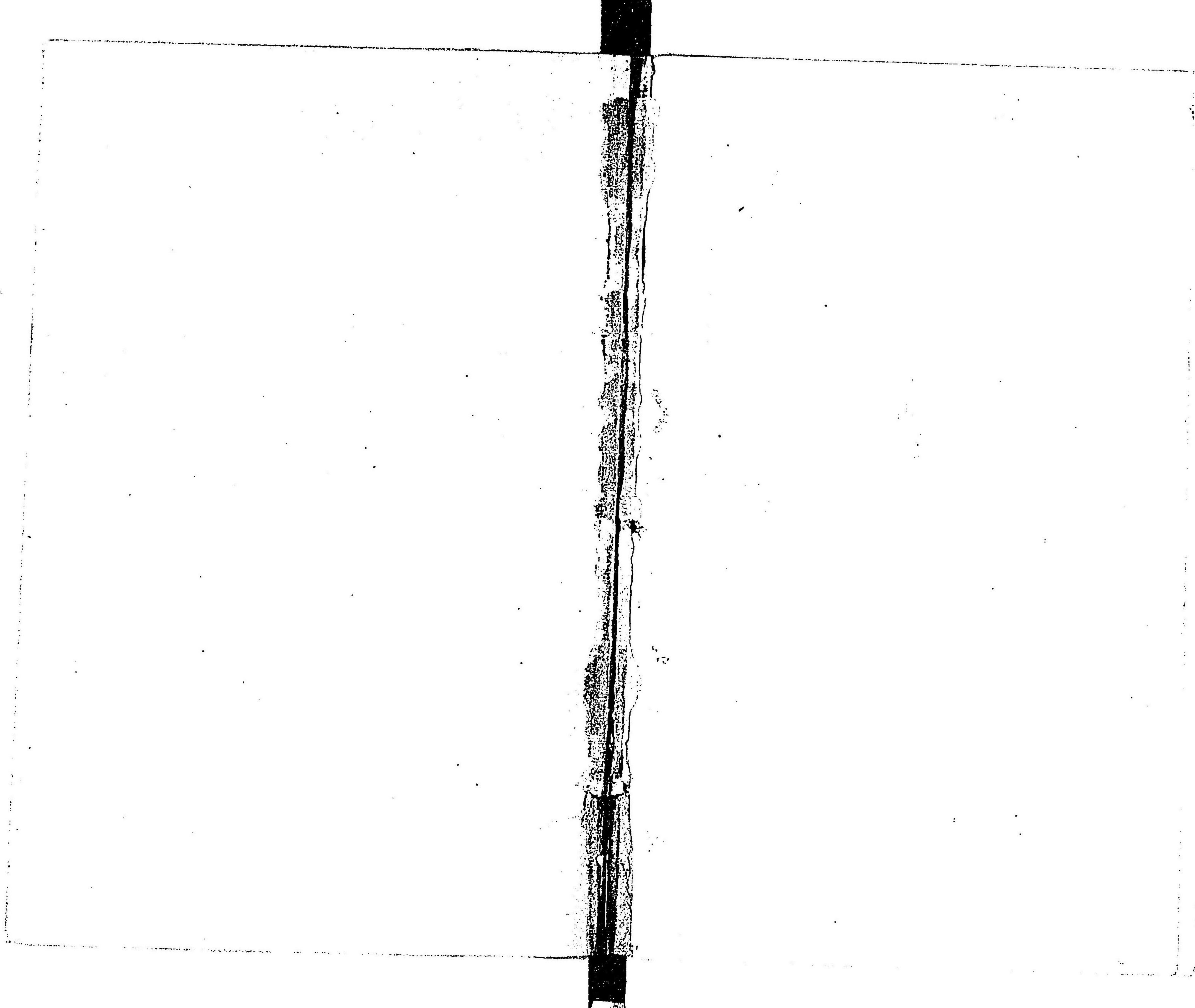


印刷人

高橋辨治郎

東京區元寄屋町
四丁目貳番地

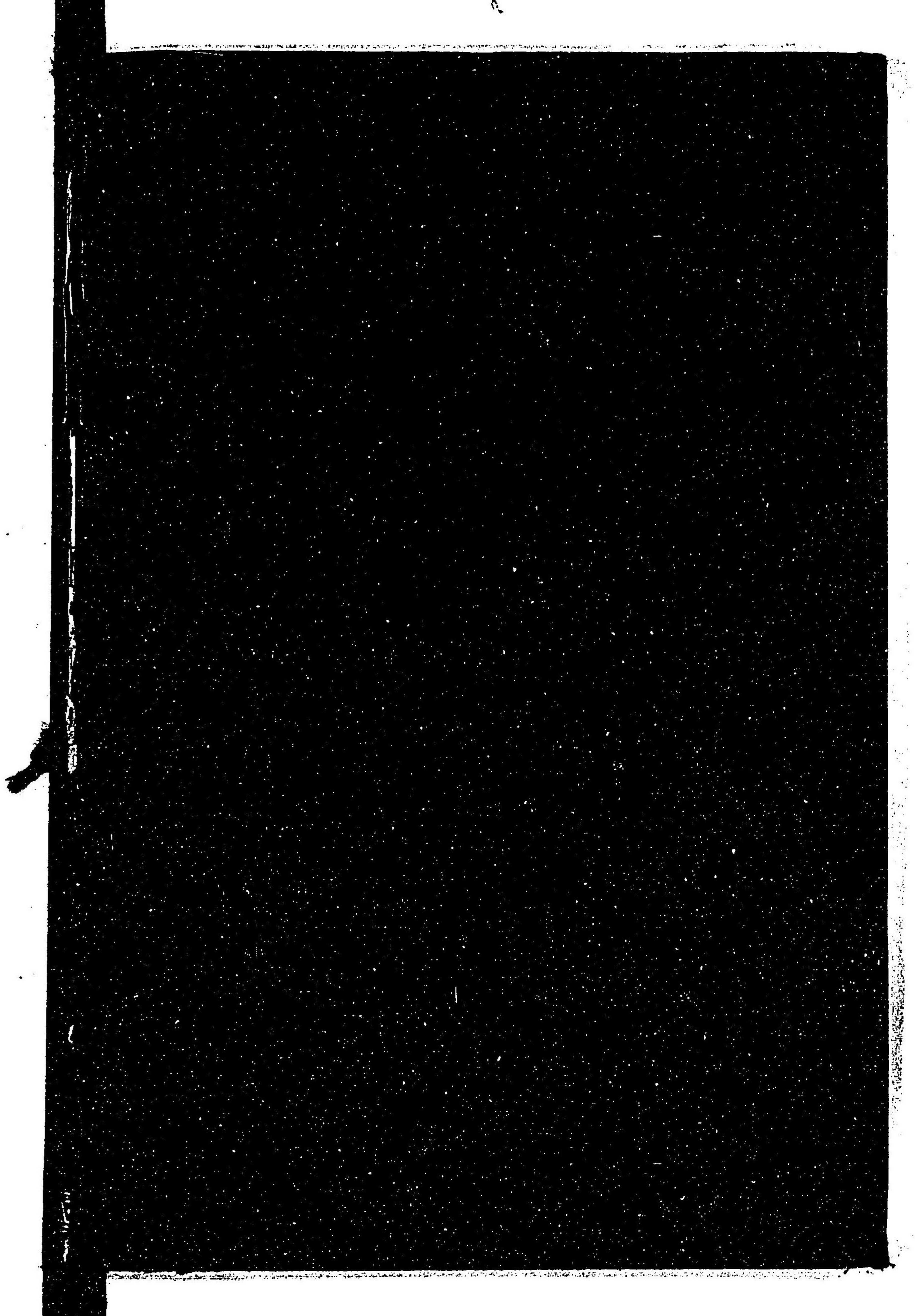




17

3

99





021985-004-7

17-99

如氏地理教科書

富士谷 孝雄 / 述

M21-23

ADA-0243



